

# 徳島県蔵本公園プールスタンド改築工事のうち建築工事

---


株式会社 松村建築計画研究所

図面目録 (建築)		
図番	名称	縮尺
A-01	図面目録	1:1
A-02	特記仕様書 1	1:1
A-03	特記仕様書 2	1:1
A-04	特記仕様書 3	1:1
A-05	特記仕様書 4	1:1
A-06	特記仕様書 5	1:1
A-07	特記仕様書 6	1:1
A-08	特記仕様書 7	1:1
A-09	特記仕様書 8	1:1
A-10	内部仕上表1	1:1
A-11	内部仕上表2	1:1
A-12	敷地全体面積表	
A-13	面積表1	1:500
A-14	面積表2	1:400
A-15	面積表3	
A-16	全体配置図	1:1000
A-17	配置図	1:300
A-18	仮設計画図1	1:400
A-19	仮設計画図2	1:400
A-20	PC敷設時仮設計画1 (参考)	1:300
A-21	PC敷設時仮設計画2 (参考)	1:300
A-22	1F施工時仮設計画1 (参考)	1:250
A-23	1F施工時仮設計画2 (参考)	1:250
A-24	1階平面図	1:200
A-25	2階平面図	1:200
A-26	3階平面図	1:200
A-27	防火区画図	1:400
A-28	屋根伏図	1:200
A-29	立面図 1	1:200
A-30	立面図 2	1:200
A-31	外部仕上概要1	
A-32	外部仕上概要2	
A-33	断面図	1:200
A-34	矩計図 1	1:50
A-35	矩計図 2	1:50
A-36	矩計図 3	1:50, 1:10
A-37	矩計図 4	1:50
A-38	矩計図 5	1:50, 1:10
A-39	矩計図 6	1:50
A-40	矩計図 7	1:50
A-41	矩計図 8	1:50
A-42	矩計図 9	1:50
A-43	矩計図10	1:50
A-44	階段詳細図1	1:50
A-45	階段詳細図2	1:50
A-46	階段詳細図3	1:50
A-47	1階平面詳細図 1	1:60
A-48	1階平面詳細図 2	1:60
A-49	1階平面詳細図 3	1:60
A-50	1階平面詳細図 4	1:60
A-51	2階平面詳細図 1	1:60

図面目録 (建築)		
図番	名称	縮尺
A-52	2階平面詳細図 2	1:60
A-53	2階平面詳細図 3	1:60
A-54	3階平面詳細図 1	1:60
A-55	3階平面詳細図 2	1:60
A-56	3階平面詳細図 3	1:60
A-57	天井伏図	1:200
A-58	展開図 ( 1 )	1:50
A-59	展開図 ( 2 )	1:50
A-60	展開図 ( 3 )	1:50
A-61	展開図 ( 4 )	1:50
A-62	展開図 ( 5 )	1:50
A-63	展開図 ( 6 )	1:50
A-64	展開図 ( 7 )	1:50
A-65	展開図 ( 8 )	1:50
A-66	展開図 ( 9 )	1:50
A-67	展開図 ( 1 0 )	1:50
A-68	展開図 ( 1 1 )	1:50
A-69	展開図 ( 1 2 )	1:50
A-70	展開図 ( 1 3 )	1:50
A-71	展開図 ( 1 4 )	1:50
A-72	展開図 ( 1 5 )	1:50
A-73	展開図 ( 1 6 )	1:50
A-74	建具キープラン	1:200
A-75	建具表 ( 1 )	1:1
A-76	建具表 ( 2 )	1:1
A-77	建具表 ( 3 )	1:50
A-78	建具表 ( 4 )	1:50
A-79	建具詳細図1	1:5
A-80	建具詳細図2	1:60
A-81	建具詳細図3	1:30, 1:5
A-82	建具詳細図4	1:30, 1:5
A-83	建具詳細図5	1:5
A-84	目隠しルーバー詳細図1	1:30
A-85	目隠しルーバー詳細図2	1:5
A-86	家具・サインキープラン	1:200
A-87	家具詳細図 1	
A-88	サイン詳細図 1	
A-89	屋根膜部詳細図1	
A-90	屋根膜部詳細図2	1:200
A-91	屋根膜部詳細図3	1:200
A-92	屋根膜部詳細図4	1:200
A-93	屋根膜部詳細図5	1:20, 1:10
A-94	屋根キャットウォーク詳細図1	1:200
A-95	屋根キャットウォーク詳細図2	1:200
A-96	屋根キャットウォーク詳細図3	1:30
A-97	部分詳細図 1	1:5
A-98	部分詳細図 2	1:5
A-99	EV詳細図1	1:50
A-100	EV詳細図2	1:20
A-101	外構工事範囲図 (参考)	1:300
A-102	概略工程表 (参考)	

図面目録 (構造)		
図番	名称	縮尺
S-01	ボーリング柱状図1	1:200
S-02	ボーリング柱状図2	1:200
S-03	杭伏図	1:200
S-04	ビット伏図	1:200
S-05	基礎伏図	1:200
S-06	基礎リスト1	1:50
S-07	基礎リスト2	1:50
S-08	基礎リスト3	1:50
S-09	1階柱2階床梁伏図	1:200
S-10	2階柱壁・下屋根床梁伏図	1:200
S-11	2階柱壁・3階梁伏図	1:200
S-12	3階柱壁・屋根梁伏図	1:200
S-13	軸組図1	1:200
S-14	軸組図2	1:200
S-15	軸組図3	1:200
S-16	軸組図4	1:200
S-17	軸組図5	1:200
S-18	軸組図6	1:200
S-19	軸組図7	1:200
S-20	軸組図8	1:200
S-21	軸組図9	1:200
S-22	軸組図10	1:200
S-23	軸組図11	1:200
S-24	柱リスト	1:50
S-25	大梁リスト	1:50
S-26	小梁・スラブ・壁リスト	1:50
S-27	Y2通架構配筋詳細図	1:50
S-28	X3通架構配筋詳細図	1:50
S-29	雑配筋詳細図1	1:30
S-30	雑配筋詳細図2	1:30
S-31	鉄筋コンクリート構造配筋基準図...	1:1
S-32	鉄筋コンクリート構造配筋基準図...	1:1
S-33	鉄筋コンクリート構造配筋基準図...	1:1
S-34	鉄筋コンクリート構造配筋基準図...	1:1
S-35	鉄筋コンクリート構造配筋基準図...	1:1
S-36	鉄筋コンクリート構造配筋基準図...	1:1
S-37	鉄筋コンクリート梁貫通補強工法...	1:1
S-38	杭頭補強工法参考図1	1:1
S-39	杭頭補強工法参考図2	1:1
S-40	杭頭補強工法参考図3	1:1
S-41	鉄骨柱脚基準図	1:1
S-42	屋根工事柱伏図	1:150
S-43	屋根トラス伏図	1:150
S-44	屋根トラス断面図	1:150
S-45	屋根トラス軸組図	1:150
S-46	屋根トラス部材サイズリスト1	1:150
S-47	屋根トラス部材サイズリスト2	1:150
S-48	支承・柱脚・アンカー伏図	1:150
S-49	支承・柱脚部詳細図	1:20
S-50	屋根トラス鉄骨詳細図1	1:30
S-51	屋根トラス鉄骨詳細図2	1:30

図面目録 (構造)		
図番	名称	縮尺
S-52	屋根トラス鉄骨開先基準図	1:10
S-53	キャットウォーク配置図	1:150
S-54	キャットウォーク断面図	1:150
S-55	キャットウォーク詳細図	1:20
S-56	膜屋根仕様書	1:1
S-57	膜屋根伏図	1:150
S-58	膜屋根母屋伏図	1:150
S-59	膜屋根母屋断面図	1:150
S-60	膜屋根母屋鉄骨詳細図	1:10
S-61	膜納まり詳細図	1:5
S-62	PC工事仕様書	1:1
S-63	PC工事割付図	1:200
S-64	PC段梁形状・配筋リスト	1:50
S-65	PC鋼線断面配線・配筋図・リスト	1:50, 1:200
S-66	PC納まり詳細図1	1:20
S-67	PC納まり詳細図2	1:20
S-68	PC段床断面割付図	1:50
S-69	PC段床配筋表	1:20
S-70	PC段床詳細図1	1:5, 1:10
S-71	PC段床詳細図2	1:5, 1:10
S-72	PC段床詳細図3	1:5, 1:10

		徳島県県土整備部管轄課	●工事名 徳島県本公園ブルスタンド改築工事のうち建築工事	●図面番号 A-01	 株式会社 松村建築計画研究所 松村史朗 <small>1 松村史朗 110292号 TEL (088) 686-0491</small>
			●図面名 図面目録	●縮尺 A2: 1:1 A3: 70.7% 縮小	

I. 工事概要

1. 工事名称	徳島県蔵本公園プールの改築工事のうち建築工事
2. 工事場所	徳島県徳島市庄町1丁目
3. 敷地面積	91,000㎡
4. 工事項目	工事内容：屋根付プール観覧席の改築 構造機軸：建築面積(4,075.33㎡)床面積(5,716.89㎡)構造(鉄筋2階一部PC造及び鉄骨造3階建て)
5. 工事区分	建築工事(別途電気工事、管工事、空調工事が同時施工)
6. 工 期	工事完成年月日は工事請負契約による

II. 建築工事仕様書

項 目	特 記 事 項
1章 一般共通事項	
1. 適用基準等	<p>◎図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて建設(国土交通省)大臣官房官庁審判部修訂の下記による。</p> <p>①公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版(以下「標仕」という。)</p> <p>②敷地調査共通仕様書(令和元年版)</p> <p>③建築工事標準詳細図(平成28年版)</p> <p>④公共建築工事仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)</p> <p>⑤公共建築工事仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)</p> <p>⑥木造建築工事標準仕様書(平成31年版)</p> <p>◎本工のうち電気工事及び管工事について、下請業者を使用する場合は、工事の施工に十分な能力と経験をもつたものを選定すること。</p> <p>◎設計図面の優先順位は、次の順とする。</p> <p>(1) 質問回答書(2)から(5)に対するもの</p> <p>(2) 補足説明書</p> <p>(3) 特記仕様書</p> <p>(4) 図面</p> <p>(5) 公共建築工事標準仕様書 平成31年版 等</p> <p>◎施工条件は次のよう。</p> <p>○場地、工事用地(使用可能範囲)、仮囲いの場所、範囲は図示する。</p> <p>○安全対策関係</p> <p>・工事の施工に当たっては工事進入ルートに交差整理員を配置し、一般交通等に支障を及ぼさないよう充分注意し施工するものとする。</p> <p>○構内道路の閉鎖として使用する場合は、</p> <p>○材料・資材の搬入・搬出に使用する場合は、</p> <p>○別途電気工事、管工事、空調工事が同時施工のため、十分に工程調整の上施工するものとする。</p> <p>○別途外構工事が令和5年1月～5月施工予定のため、十分に工程調整の上施工するものとする。</p> <p>○フェール利用期間を考慮し、施設管理者と十分に工程調整の上施工するものとする。</p> <p>・令和4年6月～9月(水泳競技利用) ・令和5年6月～(俱用期)</p> <p>○別途文化財調査があるため、十分に工程調整の上、施工するものとする。</p> <p>・スタンド部分・東側駐車場部分：令和3年9月～12月施工</p> <p>◎本工で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告示 平成13年4月9日改正)」に基づき指定された建設機械を使用するものとする。</p> <p>現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全量及び型番等、同規程に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。</p> <p>ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。</p> <p>なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。</p> <p>ただし、騒音規制法、徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。</p> <p>◎本工に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要項(平成3.10.8 建設省経機発第249号最終改正 平成14.4.1 国総施第225号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とす。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成17年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発自費で実施された民間開発建設技術の技術審査証明事業、あるいはこれと同等の開発自費で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することにより排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが、これにより費用が増える。監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全量及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。</p> <p>◎本工で使用する建設機械(労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械)は、1年以内毎に回特定自主検査を実施済の機械を使用し、その検査証明書(検査記録表)のコピーを雇用工程の施工計画書に添付し提出すること。</p> <p>◎交通誘導警備員については、警備業法に基づき警備員とし、図示する場所に500日間配置すること。</p> <p>・本工事は、警備員等の検定等に関する規則(第1条第4号)により規定された交通誘導警備業務を行う場所(一般又は二級の検定合格警備員の配置が「義務付けられていない」・義務付けられていない)。</p> <p>・警備員は、足2200人(足 2200人、夜 0人)、うち検定合格警備員1100人を見込んでいます。</p> <p>・警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。</p> <p>・配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。</p> <p>・受注者は、発注者が行う交通誘導警備員勤務実績調査の実施に協力しなければならない。また、対象工事の一部について下請負契約を締結する場合は、当該下請負工事の受注者(当該下請負工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)も同様の義務を負う旨を定めなければならない。</p> <p>・受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料(勤務表の写し)とともに、1月毎に監督員へ提出しなければならない。</p>

項 目	特 記 事 項
2. 工事関係図書	<p>◎受注者は、本工の一部を下請に付する場合には、徳島県内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するよう努めなければならない。なお、請負対象額(設計金額)が1億円以上の工事については、徳島県内に主たる営業所を有するもの以外と下請契約する場合には、県内業者を選定しない理由を記した理由書を事前に監督員に提出しなければならない。</p> <p>◎施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工程別施工計画書を作成し、監督員に提出すること。</p> <p>◎上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接工事に関する事項」を設けること。</p> <p>◎上記、図面、現寸図、見本等は、監督員の指示により速やかに監督員に提出すること。</p>
3. 安全衛生管理	<p>◎工事関係図書及び監督員から指示された事項については、施工に携わる下請負人にも十分周知徹底すること。</p> <p>◎工事現場における現場代理人、監理技術者、主任技術者の確認のため名札を着用すること。名札には現場代理人、監理技術者の別、氏名、会社名、工事名が記載し、顔写真を添付すること</p> <p>◎工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと。</p> <p>◎工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建設工事公害災害防止対策要綱(平成5年1月12日 建設省建設発第1号)、建設副産物適正処理推進要綱(平成5年1月12日 建設省建設発第3号)その他関係法令に従い適切に処理すること。</p> <p>◎受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事(仮囲い等仮設防護を含む)着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。</p> <p>◎地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置(深度)、規格、構造等を確認しなければならない。</p> <p>◎受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないよう措置を施さなければならない。万一、損傷を及ぼした場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設運営に支障がないよう受注者の負担でその修復補修又は補償すること。</p> <p>◎受注者は、重量が100kg以上のものを貨物自動車に積み作業(ロープ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む。)又は貨物自動車から卸す作業(ロープ解きの作業及びシート外しの作業を含む。)を行うときは、当該作業を指揮する者を定め、監督員に報告しなければならない。</p> <p>◎受注者は、機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から卸す作業を行う場合は、当該作業を指揮する者を定め、指揮者の合図により行わなければならない。また、作業状況について、写真等の資料を撮影及び保管し、監督員の請求があったときは、直ちに提示しなければならない。</p> <p>◎受注者は、輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため、重機回送時の高さ、移動式クレーンのブームの格納、ダンプトラックの架台の下ろし等について、走行前に複数の作業員により確認しなければならない。</p> <p>◎受注者は、トラック(クレーン装置)を使用する場合は、上空施設への接触事故防止装置(ブームの格納忘れを防止(警報)する装置、ブームの高さを制限する装置等)付きの車両を原則使用しなければならない。なお、令和3年度末までは経過措置期間とするが、この期間においても接触事故防止機能付きの車両を使用するよう努めるものとする。</p> <p>◎休日、夜間に作業を行う時は、事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。</p> <p>◎受注者は、工事用車両による土砂、工事用材料、機械等の輸送に伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当者、交通誘導員の配置、標識、安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない。特に、輸送経路にある既設構造物に対して損傷を及ぼすおそれがある場合は、当該物件およびその位置と必要措置について事前に監督員に報告しなければならない。</p> <p>◎受注者は、工事期間中安全巡回を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行うことを確保するとともに、工事現場における監理関係の組織から、資材の保管状況等についても併せて確認すること。また、監督員から「資材保管監視書」(自由様式)の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。</p> <p>◎上下作業や直下への施設利用しがるの上直上(天井)のスラブはつり工事は、原則禁止とする。やむを得ず行う場合は、飛来落下の危険を生じるおそれがあるため、適切な防護措置を講じ安全確保を図り、施工手続について監督員の承諾を得たうえで、指定された時間に行うこと。</p>
4. 工事現場管理	<p>◎工事現場には、工事標識を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。</p> <p>◎受注者は、本工事において使用する工事看板、バリケード等については、県産木材を用いた木製品を優先して使用するよう努めなければならない。県産木材を使用した場合、受注者は、工事完了「木材使用実績報告書」(電子データ)を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>◎電気保安技術者は次の者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督員の承諾を受けること。</p> <p>・事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。</p> <p>・一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第1種又は第2種電気工事士の資格を有する者とする。</p> <p>◎発生者の処理等は、次により適正に行う。</p> <p>(1) 工事による発生者のうち、文化財保護法に基づき及び有価物と判断されるものについては、報告及び引当措置を要する。</p> <p>(2) 上記以外の発生者は、建設工事に係る資材の再生資源化に関する法律、資材の有効利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令に従い処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第11条の規定を遵守すること。図面に表示のないものについては、監督員(契約書に規定する監督員)の指示に従い、構仕の規定による場合は監督員と協議すること。【汚泥】宮崎基礎建設 株式会社 ☆優良認定業者 徳島県鳴門市大町三丁目久保田1-1、5-7 運搬距離：11km 処理単価(概算)¥11,000/ト 上記以外の許可業者の処分場でも処分しても差し支えないが、増額変更の対象としない。また、この場合、処分単価の見積書の提出を求め、減額変更を行うことがある。なお、上記の処分場が徳島県優良産業廃棄物処理業者(以下、「優良産廃処分業者」という。)に認定されているとき、処分場を変更する場合は原則として優良産廃処分業者に変更すること。ただし、該場の事情により優良産廃処分業者以外の処分場で処分を行う場合は、理由書を監督員に提出すること。</p>

項 目	特 記 事 項
5. 材料・製品等	<p>また、コンクリート・アスファルト類の搬出については、中間処理施設のみとする。木材については、50㎡の範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする。</p> <p>(4) 受注者は、建設副産物搬出される工事にあつては、建設発生土は建設発生土搬出調査、産業廃棄物は産業廃棄物管理票(マニフェスト)により、適正に処理されているか確認するとともに、建設員に建設発生土搬出調査(様式)を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。</p> <p>◎受注者は、資源の有効利用の促進に関する法律(以下「資源有効利用促進法」という。))に基づき建設業に属する事業者を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令(昭31.25建設省令第19号)第8条で規定される工事、又は建設現場に係る資源の再生資源化に関する法律(建設リサイクル法)施行令第2条で規定される工事(以下「一定規模以上の工事」という。))において、コンクリート(二次製品を含む。)、土砂、砕石、加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に搬入する場合には、(一)財 日本建設情報総合センターの建設副産物情報交換システム(以下「COB R I S」という。))により再生資源利用計画を作成し、監督員の確認を受けなければならない。受注者は、資源有効利用促進法に基づき建設業に属する事業者を行う者の指定副産物に係る再生資源の利用の促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令(昭31.25建設省令第20号)第7条で規定される工事、又は一定規模以上の工事において、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生土、建設汚泥又は建設混合産業物を工事現場から搬出する場合には、COB R I Sにより再生資源利用促進計画書を作成し、監督員の確認を受けなければならない。受注者は、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成した場合には、工事完了後速やかにCOB R I Sにより再生資源利用促進計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、監督員に提出しなければならない。受注者は、COB R I Sの入力において、資源の供給元及び搬出する副産物の搬出先について、その施設名、処理の種類及び住所を必ず入力しなければならない。ただし、バーンジヤを使用する生コンクリート及び購入土を除くものとする。</p> <p>◎工事に影響のある範囲内の重要部品等 (有 ●)</p> <p>部品名称等： 保管場所： 注意事項： ◎建設リサイクル法通知済証の提示 受注者は、建設リサイクル法に基づき対象建設工事(特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等)であつて、その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のものにおいては、工事現場の公表の見やすい場所に工事着手前までに「建設リサイクル法通知済証」を提示し、工事しん工検査が終了するため存置しておくなければならない。また、「建設リサイクル法通知済証」提示後の全量写真は電子納品の対象書類とし、「徳島県電子納品運用ガイドライン【建設工事編】」に基づき提出することとする。なお、「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。</p> <p>◎本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の(1)から(3)の事項を満たすものとする。</p> <p>(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。</p> <p>(2) 法令等で定められた許可、認定又は免許を取得していること。</p> <p>(3) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>なお、「品質名称による」と記載されているものは、国土交通大臣官房官庁審判部監修「建築材料等評価名称(最新版)」に記載されているものとする。</p> <p>◎受注者は、本工事で使用する建築材料・製品等(以下「建材材」という)の発注の際は、発注時に「生コンクリート使用承諾書」、「材料使用承諾書」、「木材使用承諾書」を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>◎受注者は、工事完了後、請求金額が500万円以上の工事において、「木材使用実績報告書」(電子データ)、「建設資材使用実績報告書」(電子データ)を監督員に提出しなければならない。</p> <p>◎県産木材の使用</p> <p>(1) 受注者は、工事的目的及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合、原則として県産木材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。</p> <p>(2) 「県産木材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。</p> <p>① 徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材</p> <p>② ①以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材</p> <p>(3) 受注者は、請求金額が500万円以上の工事については、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産木材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>(4) 受注者は、県産木材を使用する前に、徳島県木材認証機構から発行される「産地認証」証明書の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>(5) 県内の森林から直接調達するもの、前記により難しい場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書面を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>◎製材等(製材、集成材、合板、集成材用材)、フローリング、再生木質ボード(パーティクルボード)、繊維板、木質系メタ板)については、合法性に係る確認(「産地認証」及び「品質認証」を含む)が行われたものを使用する。ただし、機能上、構造上必要と正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <p>また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木質製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18年2月15日)」に準拠して行うものとし、監督員に合法性証明書を提出するものとする。ただし、平成18年4月1日より前に採伐業者が加工・流通業者等と契約を締結している原産に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している業者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。</p> <p>◎公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。</p>



項目	特記事項
<b>2章 仮設工事</b>	
1. 敷地の状況確認	◎着工に先立ち、敷地境界、既存構造物、敷地の高低差、地下埋設物の確認、近隣建築物及び工作物の現状確認、排水経路及び配水管の流況処理の確認並びに敷地周辺の状況確認を行うこと。
2. ベンチマーク	◎設計GLの設定は、KBM(+3.56)を±とし、設計GLはKBM+1400(+4.96)とする。 ただし、監督員の指示により決定する。
3. 足場等	◎仮設仮材及び経年仮設仮材の使用については、次の規格又は認定基準(以下「規格等」という。)に適合するものを使用すること。 ①労働安全衛生法に基づく構造規格 ②(社)仮設工業会の認定基準 また、厚生労働省の「経年仮設仮材の管理指針」に基づく(社)仮設工業会の「適用工場制度」による登録工場及び指定工場等の活用を図るとともに、前記規格等に定めるもの以外の使用に当たってはあらかじめ強度等を確認した書類を監督員に提出し、承認を得ること。 ◎労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等(組立から解体までの期間が60日未満を除く)の設置や移転、変更を行う場合は、30日までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。 届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。 届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。 ◎労働安全衛生法第89条に基づき「届け出」の届出期間からず、足場を設置する場合は、使用開始前に當該課指定の足場チェックリストを用いて点検した後、監督員の確認を受けること。 ◎受注者は、高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業員毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。 ◎外足場(種類:枠組木足場、仕様:2枚布、D=90cm、シート仕様:防炎シート) ・壁つなぎ間隔(水平方向:8m以下、鉛直方向:9m以下) ・足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」(2.2.4)の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の(2)「手すり設置方式」により行うこと。 ただし監督員の承認を得た場合は、(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。 ◎内脚足場(種類:立馬、仕様: 枚布、D= cm) ・壁つなぎ間隔(水平方向: m以下、鉛直方向: m以下) ◎仮囲いを設置する場合は、設置後に「當該課発注現場安全再確認シート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。 ◎仮囲い(仕様:成形鋼板、H=3.0m、L=図示)(仕様:ｶﾞｰﾄﾞﾌﾗﾝｽ、H=1.8m、L=図示) ◎ゲート(仕様: 無、仕様:ｷｯｸｰﾄﾞ H=1.8m×W5.0m) ◎足場等の設置業者は、別契約の関係受注者に無償で使用させること。また安全管理も実施すること。 ◎受注者は、つり足場(ゴンドラのつり足場を除く)、張出し足場又は高さが5メートル以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業において、材料、器具、工具等を用い、又はおろすときは、つり綱、つり索等を労働者に使用させなければならない。また、作業主任者を選任し、その氏名、職務を提示すること。 ◎屋根工事において仮設は先行して完成している観覧席への影響を考慮した仮設計画を作成の上監督者の承認を得ること。
4. 監督員事務所等	◎監督員事務所(設ける(面積15㎡程度)・設け(ない)) ◎監督員事務所を設置する場合、備品は次のものを設置すること。 (1)机、椅子、書類、製図機、掛時計、温度計、湿度計 (2)ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、懐中電灯、安全帯 (3)誘加入電話の子機 (4)衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器、通気扇、掃除機 (5)ファクシミリ機 ◎会議室(設ける(面積15㎡程度)・設け(ない))
5. 工事用水、電力等	◎既存電力利用(出来る・出来ない)、電力料金(有償・無償) ただし、施設管理者と協議すること。 ◎既存水利用(出来る・出来ない)、水料金(有償・無償) ただし、施設管理者と協議すること。
8. 工事車両用駐車場 資材置場 現場事務所用地等	◎同用地は、(標示の場所にて)用意していないので業者にて)設けること。 ◎借地借家料 円
9. 仮設トイレの洋式化	◎受注者は当初請負対象金額(設計金額)5千万円未満の工事において、仮設トイレを設置する場合、原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ(快通トイレ)」を設置しなければならない。 ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。  ◎受注者は、当初請負対象金額(設計金額)5千万円以上の工事において仮設トイレを設置する場合、原則として「快通トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ(快通トイレ)」を設置しなければならない。 ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。  ◎受注者は、仮設トイレを設置した場合、「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。  □洋式トイレとは、和式トイレの便座部分を洋式化したトイレのこと。 □快通トイレとは、洋式トイレのうち、防臭対策・施錠の強化などが実施された、女性が利用しやすい仮設トイレのこと。

項目	特記事項
<b>3章 土工事</b>	
1. 掘削	◎掘削の状況、土質、地下水の状態等に適合した工法を採用し、工事中の異常沈下、法面の滑動、その他による災害が発生しないよう、災害防止に必要な処置をすること。 ◎敷地内に掘削が予想される設備配管等について事前調査し、支障がないようにすること。 ◎掘削し底は、地盤をかく乱しないよう、手作業(深さ30cm程度)とするか、バケットに特殊アタッチメントを取りつけた機械掘りとする。なお、かく乱した場合は、自然地盤と同程度の強度となるように適切な処置を定め、監督職員の承認を受ける。
2. 排水	◎工事に支障を及ぼす雨水、わき水等は、適正な排水溝、集水ます等を設置し、支障がないようにすること。
3. 埋め戻し及び盛土	◎使用土は、(1)B種、(2)D種とし、機械により締め固める。 ◎本工事は、他現場の建設発生土を使用できるが監督員に確認すること。 なお、品質等により使用が困難な場合は、監督員と協議すること。 ◎建設発生土を搬入する場合は、土壌検査結果を添付するものとし、「徳島県生活環境保全条例」の土壌基準に適合しないものについては、搬入することができない。 ただし、次の場合は検査結果の添付の必要はない。 (1)公共工事利用の場合で、監督員相互で同意がとれた場合 (2)購入土(切込砕石、砂、真砂土等)である場合 ◎赤盛りは、土質に応じ監督員と協議の上、赤盛り高さを決定すること。 ◎六面クロム溶出試験を行う・行わない。 行っ場合、土壌環境基準以下であることを確認すると共に、試験結果(計量証明書)を監督員に提出するものとする。 六面クロム溶出試験は、「セメント及びセメント系固化工材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」(平成12年3月31日建設258号)の「六面クロム溶出試験実施要領(案)」により実施する。土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合、試験の結果、六面クロムの溶出量が土壌環境基準を超えた場合は、監督員と協議するものとする。
4. 地均し	◎建築物の周囲、幅20程度を、水はけよく地均しを行う。 ◎地均しは、均しを行う地表面の不陸を修正し、草木の除去及び清掃をして、一律にかき均した後、土上げ面を一律になじみ起こしをして、良質土をまきかけ、歩行に耐える程度に締め固める。
5. 建設発生土の処理	◎場外搬出適正処分とする。 民間の残土処分場へ搬出する場合は「徳島県生活環境保全条例」によることとし、建設発生土の発生場所ごとに、かつ4,000立方メートルまでごとに回収して、土壌検査を行うこととする。その他、「特定事業の許可に係る土壌検査及び水質検査の実施における留意点」による。 ただし、建設発生土の公共工事利用を行う場合で、担当者相互の同意が取れた場合には、分析の必要はない。 ◎土壌検査を行った結果、条例の基準に適合しない場合には、監督員と協議すること。 ◎場外搬出の場合の処理は次のとおりとする。 ・最終処分場の指定(記入例) 排 出 土 : 砂質土 企 社 名 : 宮崎基礎建設 株式会社 小俣良認定業者 所 在 地 : 徳島県徳島市大塚町三保字津又田4-1、5-7 処分単価 : 1t当たり11,000円(税抜き) 運搬距離 : 11.0 kmを見込んでいる。 運搬経路 : 国道192号線→県道1号線→県道15号線→県道41号線
6. 建設発生汚泥の処理	◎場外搬出の場合の処理は次のとおりとする。 ・再資源化施設(記入例) 企 社 名 : 徳島県環境整備公社 徳島東部処分場 所 在 地 : 徳島県板野郡松茂町久野日野6地先 処分単価 : 処理単価(税抜き)W4,000/t 運搬距離 : 17.0kmを見込んでいる。 運搬経路 : 国道192号線→国道11号線 ◎発生汚泥を再生利用する場合には、「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン」に準拠し、その内容を明記した施工計画書を監督員に提出し、承認を受けた後に施工すること。また、施工計画書の承認を受ける際には、関係部局との協議に協力すること。 ◎舗装版切断に伴い発生する排水は汚泥に該当するため、関係法令等に基づき適正に処理すること。
7. 山留め	◎山留めの、適切な資料に基づき構造計算を行い、安全に設置すること。また、設置期間中、周辺地域及び山留めの状況を点検するとともに、安全管理に必要な計画を行う。 ◎法面施工の場合(1)多段式 ◎山留めの有無、有無範囲 図示による。 ◎鋼矢張板抜き跡の処理 (正しくは砂等で充填 )

項目	特記事項																																																		
<b>4章 地盤工事</b>																																																			
1. 一般事項	◎試験杭の位置及び本数は図示による。仕様は本表と同じとする。 ◎排水、砕土等は産業廃棄物に該当するため、関係法令に基づき適正に処理すること。																																																		
2. 既製コンクリート杭地業	◎杭の種類  種類 ◎遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PCRC杭) ・外殻鋼管付きコンクリート杭(SCRC杭) 寸法、継手、性能等(種別・種類、性能及び曲げ強度区分)  <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>種類</th> <th>コンクリート強度(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>鋼管厚(mm)</th> <th>杭径(mm)</th> <th>杭長(m)</th> <th>継手数</th> <th>セメント</th> <th>長期設計支持力(kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">試験杭</td> <td>上杭 SC</td> <td>105N</td> <td>9mm</td> <td>600</td> <td>4000</td> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">5</td> <td rowspan="3">1600</td> <td rowspan="3">P3</td> </tr> <tr> <td>中杭 PCRC</td> <td>105N</td> <td></td> <td>600</td> <td>7000</td> </tr> <tr> <td>下杭 JP-NPH</td> <td>105N</td> <td></td> <td>600</td> <td>7000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">本杭</td> <td>上杭 PCRC</td> <td>105N</td> <td></td> <td>600</td> <td>9000</td> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">16</td> <td rowspan="3">2700</td> <td rowspan="3">P1</td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭 JP-NPH</td> <td>105N</td> <td></td> <td>400-600</td> <td>9000</td> </tr> </tbody> </table>		種類	コンクリート強度(N/mm <sup>2</sup> )	鋼管厚(mm)	杭径(mm)	杭長(m)	継手数	セメント	長期設計支持力(kN/本)	備考	試験杭	上杭 SC	105N	9mm	600	4000	2	5	1600	P3	中杭 PCRC	105N		600	7000	下杭 JP-NPH	105N		600	7000	本杭	上杭 PCRC	105N		600	9000	2	16	2700	P1	中杭					下杭 JP-NPH	105N		400-600	9000
	種類	コンクリート強度(N/mm <sup>2</sup> )	鋼管厚(mm)	杭径(mm)	杭長(m)	継手数	セメント	長期設計支持力(kN/本)	備考																																										
試験杭	上杭 SC	105N	9mm	600	4000	2	5	1600	P3																																										
	中杭 PCRC	105N		600	7000																																														
	下杭 JP-NPH	105N		600	7000																																														
本杭	上杭 PCRC	105N		600	9000	2	16	2700	P1																																										
	中杭																																																		
	下杭 JP-NPH	105N		400-600	9000																																														
5. 支持力及び支持地盤の確認	◎杭先端部形状 ◎開放形 ・半閉放形 ・閉そく形 ◎専門工事業者は、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督職員に提出する。 ◎工 法 ・特定埋込杭工法 :平成13年7月2日 国土交通省告示第113号第6による。 ・セメントミルク工法 :プレポンリング掘削長さ20.00m、オーガ径 mm ◎特定埋込杭工法における支持地盤の位置及び土質は図示とする。 ・杭の水平方向の位置ずれの精度は、(100)mm以下とする。 ◎支持地盤への掘削深さ(20.0) m、杭の支持地盤への掘入深さ(1.0) m ◎支持地盤の位置及び土質は図示とする。 ・杭の水平方向の位置ずれの精度は、(100)mm以下とする。なお、ずれが(100)mmを超えた場合は、監督員の指示を受ける。 ◎専門工事業者は、工事の規模に相応した施工機械、施工体制、施工実績を有することを証明する資料を監督職員に提出すること。 ◎継手の施工に当たっては、上下杭の継手を同一線上に合わせる。 ◎杭の現場継手は、既式継手とする。 ◎杭頭処理は、鋼錠ノド等を使用し、10cm程度は手ばりとする。 ◎杭頭の処理は標高は±3.8による。 ◎杭頭の補強は杭の継手と準じて溶接されるものとする。 ◎使用機械は、オーガの駆動用電動機の電流値の変化が自動記録できるものを装備する。 ◎支持層の確認は、掘削した土砂を確認し、監督員の承認を受けること。 ◎特定埋込杭工法 ・H13国土交通省告示第113号第6による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第113号第6による地盤の許容支持力式のうち $\alpha, \beta, \gamma$ が以下の値を採用できる工法 $\alpha = ( )$ 、 $\beta = ( )$ 、 $\gamma = ( )$																																																		
6. 載荷試験	◎試験杭の位置は監督員との協議による。 報告書の記載事項は、試験の目的のほか、次の事項を記載する。 ①敷地の状況、杭の位置 ②杭の種類、材質、形状、寸法、質量等 ③杭の打込み深さ(地盤状況、地下水位等が明らかなき場合は合わせて図示する。) ④杭の施工法 ⑤試験装置の概要 ⑥荷重-時間曲線 時間-一次下曲線(片対数グラフを含む) 荷重-一次下曲線(両対数グラフを含む) ⑦測定数値表 ⑧杭の設置日時及び試験日時 ⑨試験の状況を示す写真及び杭の設置から試験までの気象記録 ⑩考察 なお、土質性状については、できる限り地盤調査・土質試験データ等の詳細な情報を添付する。																																																		



項目	特記事項								
4. 工作一般	<p>◎高力ボルト・普通ボルト及びアンカーボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等は図示による。</p> <p>◎床書き図は作成(する・しない)。</p> <p>◎鉄骨の製作精度は 標準仕様書 3.3及びH12(建築第1464号第二号)による。</p> <p>H12(建築第1464号第二号)1(2)のただし 書きによる補強は、「突き合わせ継手の食い違いのずれの検査・補強マニュアル」による。</p> <p>◎仮設のため鉄骨に補助等取付け及び貫通孔を設ける場合は、工場溶接を原則とし、現場溶接となる場合は監督員の承認を得ること。</p> <p>◎仮組を(実施する・実施しない)。</p>								
5. 高力ボルト接合	<p>◎すべり係数試験は(行う・行わない)。</p> <p>ただし、溶融亜鉛めっき工法の場合は、「13.溶融亜鉛めっき工法」によるものとする。</p> <p>◎ショットプラスト又はグリットプラストにより磨擦面の表面粗度を50μmR以上確保する場合の表面粗度の確認方法は次のいずれかによる。</p> <p>(1)表面粗度測定機による測定</p> <p>(2)プラスト機器の性能表による確認</p> <p>(3)スライスプレート販売元からの表面粗度検査結果証明書による確認</p> <p>上記の方法により確認できない場合は、すべり係数試験(サンプル試験)を行い、すべり係数値0.45以上を確保すること。</p> <p>◎高力ボルトを工事現場に搬入後、JIS形高力ボルトは、トルク係数値の確認試験を(行う・行わない)。</p> <p>◎確認試験の取置は、呼び径ごとに代表ロットを選び、その中から任意に取り出した5セットとする。</p> <p>◎トルシア高力ボルトは、軸力の確認試験を(行う・行わない)。</p> <p>◎締付け施工の確認は、JASS 6.3(締付け施工の確認)に準じる。</p> <p>◎原則として本接合ボルトを仮ボルトとして使用しないこと。</p> <p>◎仮ボルトの本数は締仕7.10.5(2)～(4)とし、本接合完了までの応力に対して検討を行うこと。</p>								
6. 普通ボルト接合	<p>◎普通ボルトの戻し止めは(二重ナット・ナットの溶接・ゆるみ防止用特殊ナット)による。</p> <p>ただし、母屋・鋼板類の取付用ボルトは、全ねじボルトとし、戻し止めを省略できる。</p> <p>◎普通ボルトの産金は(・JIS B 1256・)による。</p>								
7. 溶接接合	<p>◎溶接作業は、工場作業を原則とする。</p> <p>ただし、やむを得ない場合は監督員の承認を得ること。</p> <p>◎溶接技能者に対して、技量付加試験を(○・行わない)。</p> <p>◎開先の形状は構造図による。</p> <p>◎溶接部の余剰高さは、JASS6 付則6(鉄骨精度検査基準)付表3(溶接)による。</p> <p>◎スカラップの形状は、図示による。</p> <p>◎エンドタブの切断は(○・行わない)。行う場合は図示による。</p> <p>◎エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から、1～5mm残し、部材断面を欠損しないよう直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。</p> <p>◎低応力高サイクル疲労を受けやすい部位は、図示による。</p> <p>◎完全溶込み溶接部は超音波探傷試験を(○・行わない)。</p> <p>◎試験を行う場合の平均出力品質限界(AQL)は(2.5%・%)とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>試験の種類</th> <th>試験箇所</th> <th>試験数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超音波探傷試験</td> <td>突き合せ溶接部</td> <td>JASS 6 表10.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	試験の種類	試験箇所	試験数	備考	超音波探傷試験	突き合せ溶接部	JASS 6 表10.1	
試験の種類	試験箇所	試験数	備考						
超音波探傷試験	突き合せ溶接部	JASS 6 表10.1							
8. スタッド溶接及びデッキプレート溶接	<p>◎デッキプレートと鉄骨部材に溶接する工法は、次による。</p> <p>(アークスポット溶接・隅肉溶接・塊焼き溶接)</p> <p>◎スタッド溶接完了後は、試験記録を作成し、監督員の承認を得ること。</p>								
9. 錆止め塗装	<p>◎素地色しらは、締仕 表18.2.2(A・B・C)種とする。</p> <p>※A種及びB種は製作工場で行うものとする。</p> <p>◎塗料種類 鉄面 標準仕様書 表18.3.1の(A・B)種</p> <p>亜鉛めっき面 標準仕様書 表18.3.2の(A・B・C)種</p> <p>◎塗料塗布種類 鉄面 標準仕様書 表18.3.3の(A・B)種</p> <p>(工場)回、現場(1)回</p> <p>亜鉛めっき面 標準仕様書 表18.3.4の(A・B)種</p> <p>(現場)回</p> <p>◎鉄骨鉄筋コンクリート連の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面の塗装を(行う・行わない)。</p> <p>行う場合の塗料の種類は(A・B)種とする。</p> <p>◎耐火被覆材の接着する面の塗装の範囲は図示による。塗料の種類は(A・B)種とする。</p> <p>◎耐火被覆材の接着する面以外の塗装の範囲は図示による。塗装の範囲は、締仕7.8.2.1(ア)～(オ)以外とする。</p>								
10. 耐火被覆	<p>◎耐火被覆 種類( )、材料、工法( )</p> <p>耐火性能( )、適用箇所( )</p>								
11. 工事現場施工	<p>◎鉄骨造方の精度は、(社)日本建築学会「建築工事標準仕様書-6.鉄骨工事付則-6.鉄骨精度検査基準」による。</p> <p>ただし以下のものは図面による。</p> <p>・物に精度を必要とする構造物あるいは構造物の部分。</p> <p>・軽微な構造物あるいは構造物の部分。</p> <p>◎建方用アンカーボルトを(使用する・使用しない)。</p> <p>◎建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの形状及び寸法は図示による。</p> <p>◎構造用アンカーボルトを(使用する・使用しない)。</p> <p>◎構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法は図示による。</p> <p>◎アンカーボルトの保持及び埋込み工法は(A・B)種とする。</p> <p>◎柱底均しモルタル工法は(A・B)種とし、厚さは図示による。</p> <p>A種の場合の無収縮モルタルは、製造所の仕様による。</p>								
12. 軽量形鋼構造	<p>◎普通ボルトには、二重ナットなどにより戻し止めを行う。ただし、鋼板、母屋類は除く。</p> <p>また、ボルト締め後のネジ山は、3山以上出るようにする。</p> <p>◎形鋼、鋼板類の亜鉛めっきは、締仕 表14.2.2による。</p>								

項目	特記事項																																																		
13. 溶融亜鉛めっき工法	<p>◎溶融面の処理は、(プロット処理・リン酸処理)とする。</p> <p>◎プラスト処理とする場合は、5.高力ボルト接合と同様の方法で表面粗度50μmR以上の確認を行う。</p> <p>◎リン酸処理とする場合は、すべり耐性等を確認するものとし、確認方法は(すべり試験)とする。</p> <p>すべり試験の要領は、溶融亜鉛めっき高力ボルト技術協会の「めっき高力ボルト接合設計施工指針」による。</p>																																																		
8章 ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	<p>◎コンクリートブロックは、JIS A 5406による規格品とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>断面形状 (空孔、 型形状)</th> <th>圧縮強さ の種別 (08～40)</th> <th>化繊内容</th> <th>寸法精度 (標準制度 高精度)</th> <th>透水性 (普通 防水性)</th> <th>正味 厚さ (mm)</th> <th>モジュール 呼び寸法(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>長さ</th> <th>高さ</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎充填用及びまぐさのコンクリートは1類とし、呼び強度F-21、スランパ21cmとする。</p> <p>上記以外のコンクリートは、設計基準強度F-21(N/mm<sup>2</sup>)とする。</p> <p>◎モルタルの割合は、締仕 2.1とする。</p> <p>◎壁及びまぐさの配筋は図示による。</p> <p>◎1日の積み上げ高さは、1.0m以下とする。</p>	断面形状 (空孔、 型形状)	圧縮強さ の種別 (08～40)	化繊内容	寸法精度 (標準制度 高精度)	透水性 (普通 防水性)	正味 厚さ (mm)	モジュール 呼び寸法(mm)	適用箇所						長さ	高さ																																			
断面形状 (空孔、 型形状)	圧縮強さ の種別 (08～40)	化繊内容	寸法精度 (標準制度 高精度)	透水性 (普通 防水性)	正味 厚さ (mm)	モジュール 呼び寸法(mm)	適用箇所																																												
					長さ	高さ																																													
1. 補強コンクリートブロック造	<p>◎コンクリートブロックは、JIS A 5406による規格品とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>断面形状 (空孔、 型形状)</th> <th>圧縮強さ の種別 (08～40)</th> <th>化繊内容</th> <th>寸法精度 (標準制度 高精度)</th> <th>透水性 (普通 防水性)</th> <th>正味 厚さ (mm)</th> <th>モジュール 呼び寸法(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>長さ</th> <th>高さ</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空洞</td> <td>16</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>普通</td> <td>120</td> <td>400</td> <td>200 階段裏</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎充填用及びまぐさのコンクリートは1類とし、呼び強度F-21、スランパ21cmとする。</p> <p>上記以外のコンクリートは、設計基準強度F-21(N/mm<sup>2</sup>)</p> <p>◎壁及びまぐさの配筋は図示による。</p> <p>◎壁配筋の継手定着及び端部の折り曲げ形状は図示による。</p> <p>◎モルタルの割合は、締仕 2.1とする。</p>	断面形状 (空孔、 型形状)	圧縮強さ の種別 (08～40)	化繊内容	寸法精度 (標準制度 高精度)	透水性 (普通 防水性)	正味 厚さ (mm)	モジュール 呼び寸法(mm)	適用箇所						長さ	高さ		空洞	16	無	標準	普通	120	400	200 階段裏																										
断面形状 (空孔、 型形状)	圧縮強さ の種別 (08～40)	化繊内容	寸法精度 (標準制度 高精度)	透水性 (普通 防水性)	正味 厚さ (mm)	モジュール 呼び寸法(mm)	適用箇所																																												
					長さ	高さ																																													
空洞	16	無	標準	普通	120	400	200 階段裏																																												
2. コンクリートブロック積壁及び壁	<p>◎コンクリートブロックは、JIS A 5406による規格品とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>断面形状 (空孔、 型形状)</th> <th>圧縮強さ の種別 (08～40)</th> <th>化繊内容</th> <th>寸法精度 (標準制度 高精度)</th> <th>透水性 (普通 防水性)</th> <th>正味 厚さ (mm)</th> <th>モジュール 呼び寸法(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>長さ</th> <th>高さ</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空洞</td> <td>16</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>普通</td> <td>120</td> <td>400</td> <td>200 階段裏</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎充填用及びまぐさのコンクリートは1類とし、呼び強度F-21、スランパ21cmとする。</p> <p>上記以外のコンクリートは、設計基準強度F-21(N/mm<sup>2</sup>)</p> <p>◎壁及びまぐさの配筋は図示による。</p> <p>◎壁配筋の継手定着及び端部の折り曲げ形状は図示による。</p> <p>◎モルタルの割合は、締仕 2.1とする。</p>	断面形状 (空孔、 型形状)	圧縮強さ の種別 (08～40)	化繊内容	寸法精度 (標準制度 高精度)	透水性 (普通 防水性)	正味 厚さ (mm)	モジュール 呼び寸法(mm)	適用箇所						長さ	高さ		空洞	16	無	標準	普通	120	400	200 階段裏																										
断面形状 (空孔、 型形状)	圧縮強さ の種別 (08～40)	化繊内容	寸法精度 (標準制度 高精度)	透水性 (普通 防水性)	正味 厚さ (mm)	モジュール 呼び寸法(mm)	適用箇所																																												
					長さ	高さ																																													
空洞	16	無	標準	普通	120	400	200 階段裏																																												
3. ALCパネル	<p>◎ALCパネルは、JIS A 5416による規格品とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>単位重量 (パネルの 設計荷重) (N/m<sup>2</sup>)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>表面加工の 分</th> <th>パネルの 取付け 工法</th> <th>耐火 性能</th> <th>使用 箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壁</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>間仕切</td> <td></td> <td>100</td> <td>2000</td> <td>600</td> <td>フラット</td> <td>ボネグ方式</td> <td>1H耐火</td> <td>2階間仕切</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。</p> <p>◎外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと部材との取合い部の伸縮調整目地幅は、( )mmとする。</p> <p>◎伸縮調整目地に耐火目地材を(充填する・充填しない)。</p>	種類	単位重量 (パネルの 設計荷重) (N/m <sup>2</sup> )	厚さ (mm)	長さ (mm)	幅 (mm)	表面加工の 分	パネルの 取付け 工法	耐火 性能	使用 箇所	備考	壁										間仕切		100	2000	600	フラット	ボネグ方式	1H耐火	2階間仕切		屋根										床									
種類	単位重量 (パネルの 設計荷重) (N/m <sup>2</sup> )	厚さ (mm)	長さ (mm)	幅 (mm)	表面加工の 分	パネルの 取付け 工法	耐火 性能	使用 箇所	備考																																										
壁																																																			
間仕切		100	2000	600	フラット	ボネグ方式	1H耐火	2階間仕切																																											
屋根																																																			
床																																																			
4. 押出成形セメント板	<p>◎押出成形セメント板は、JIS A 5414による規格品とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種類 (外壁用 間仕切用)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>働き幅 (mm)</th> <th>表面形状</th> <th>ロック有無 充填の有無</th> <th>パネルの 取付け工法</th> <th>使用箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎パネル相互の目地幅は、長辺( )mm、短辺( )mm以上とする。</p> <p>◎出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅は( )mmとし、シーリング材(寸法15×10(mm))を充填する。</p> <p>◎耐火性能は(2時間耐火・1時間耐火・30分耐火)とする。</p> <p>◎耐火構造以外の目地及び隙間の処理は(・パネル製造所の指定・)とする。</p> <p>◎建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。</p> <p>◎建築基準法に基づき定められた区分等</p> <p>基準風速V<sub>0</sub>( )m/s 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)</p> <p>◎アスベストを使用していない製品とする。</p> <p>◎製造所 評価名簿による。</p> <p>◎やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>開口の大きさ</th> <th>切断後のパネルの残り部分の幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パネルに開口を設ける場合</td> <td>短辺</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>長辺</td> <td></td> </tr> <tr> <td>パネルを切り欠く場合</td> <td>短辺</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>長辺</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類 (外壁用 間仕切用)	厚さ (mm)	働き幅 (mm)	表面形状	ロック有無 充填の有無	パネルの 取付け工法	使用箇所	備考										開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅	パネルに開口を設ける場合	短辺			長辺		パネルを切り欠く場合	短辺			長辺																				
種類 (外壁用 間仕切用)	厚さ (mm)	働き幅 (mm)	表面形状	ロック有無 充填の有無	パネルの 取付け工法	使用箇所	備考																																												
	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅																																																	
パネルに開口を設ける場合	短辺																																																		
	長辺																																																		
パネルを切り欠く場合	短辺																																																		
	長辺																																																		

項目	特記事項																																																																																												
9章 防水工事	<p>◎防水下地の乾燥については、高周波水分計による地下水分の測定を行い、使用材料のメーカーの工法と確認し、工事を進めること。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保護層の内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">屋根保護防水密着工法</td> <td>A-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋根保護防水密着断熱工法</td> <td>AI-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>AI-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>AI-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋根保護防水絶縁工法</td> <td>B-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-3</td> <td>便所、進入路</td> <td>押えコウゲート</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋根保護防水絶縁断熱工法</td> <td>BI-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>BI-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>BI-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">屋根露出防水絶縁工法</td> <td>D-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D-4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋根露出防水絶縁断熱工法</td> <td>DI-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>DI-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内防水密着工法</td> <td>E-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>E-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎アスファルトは、JIS K 2207 の規格品3種とする。</p> <p>◎端部押え金具は既成アルミニウム製とし、形状寸法は( )とする。</p> <p>◎防水下地の立ち上がりコンクリートの仕上げは( )とする。</p> <p>◎保護層の伸縮調整目地は成形伸縮目地とし、成形継ぎ目はルーフィング類製造所の指定する製品とする。</p> <p>◎立ち上がり部の保護層は、(乾式工法・れんが押え・コンクリート押え)とする。</p> <p>◎屋上排水溝は図示する。</p>	工法	種別	施工箇所	保護層の内容	備考	屋根保護防水密着工法	A-1				A-2				A-3				屋根保護防水密着断熱工法	AI-1				AI-2				AI-3				屋根保護防水絶縁工法	B-1				B-2				B-3	便所、進入路	押えコウゲート		屋根保護防水絶縁断熱工法	BI-1				BI-2				BI-3				屋根露出防水絶縁工法	D-1				D-2				D-3				D-4				屋根露出防水絶縁断熱工法	DI-1				DI-2				屋内防水密着工法	E-1				E-2			
工法	種別	施工箇所	保護層の内容	備考																																																																																									
屋根保護防水密着工法	A-1																																																																																												
	A-2																																																																																												
	A-3																																																																																												
屋根保護防水密着断熱工法	AI-1																																																																																												
	AI-2																																																																																												
	AI-3																																																																																												
屋根保護防水絶縁工法	B-1																																																																																												
	B-2																																																																																												
	B-3	便所、進入路	押えコウゲート																																																																																										
屋根保護防水絶縁断熱工法	BI-1																																																																																												
	BI-2																																																																																												
	BI-3																																																																																												
屋根露出防水絶縁工法	D-1																																																																																												
	D-2																																																																																												
	D-3																																																																																												
	D-4																																																																																												
屋根露出防水絶縁断熱工法	DI-1																																																																																												
	DI-2																																																																																												
屋内防水密着工法	E-1																																																																																												
	E-2																																																																																												
5. 塗膜防水	<p>◎塗膜を形成する材料は、JIS A 6021の規格品とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X-1</td> <td>屋根一般、2階コウゴス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>X-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y-2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎仕上げ塗料(アクリルシリコン樹脂) 使用量(0.2kg/m<sup>2</sup>)</p>	種別	施工箇所	備考	X-1	屋根一般、2階コウゴス		X-2			Y-1			Y-2																																																																															
種別	施工箇所	備考																																																																																											
X-1	屋根一般、2階コウゴス																																																																																												
X-2																																																																																													
Y-1																																																																																													
Y-2																																																																																													
6. ケイ酸質系塗布防水	<p>◎ケイ酸質系塗布防水材はJASS 8 T-301に適合するものとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-U1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	種別	施工箇所	C-U1																																																																																							
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																										
C-U1																																																																																													
7. シーリング	<p>◎シーリング材は、JIS A 5758の規格品とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">シーリング材の種類</th> <th colspan="2">目地寸法</th> <th rowspan="2">接着性試験 (引張、簡易)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>記号</th> <th>主成分及び硬化機構による区分</th> <th>幅</th> <th>深さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MS-2</td> <td>変成/2/2系</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>簡易</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MS-2</td> <td>変成/2/2系</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>簡易</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MS-2</td> <td>変成/2/2系</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>無し</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、接着性試験は、同じ材料の組合せで実施した試験成績書がある場合は、監督員の承認を受けて試験を省略することができる。</p> <p>◎シーリング面への仕上塗材仕上げ等(○・行わない)。</p>	シーリング材の種類		目地寸法		接着性試験 (引張、簡易)	備考	記号	主成分及び硬化機構による区分	幅	深さ	MS-2	変成/2/2系	15	15	簡易		MS-2	変成/2/2系	15	10	簡易		MS-2	変成/2/2系	10	10	無し																																																																	
シーリング材の種類		目地寸法		接着性試験 (引張、簡易)	備考																																																																																								
記号	主成分及び硬化機構による区分	幅	深さ																																																																																										
MS-2	変成/2/2系	15	15	簡易																																																																																									
MS-2	変成/2/2系	15	10	簡易																																																																																									
MS-2	変成/2/2系	10	10	無し																																																																																									
8. 漏水試験	<p>◎屋内については、水張り試験を行う。</p>																																																																																												
9. 防水保証	<p>◎防水工完了後は、メーカー、元請業者、下請業者の3者連名による、(3・5・7・)回(10)年間の防水工事性能保証書を提出すること。</p>																																																																																												

項目	特記事項																																								
11章 タイル工事																																									
1. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	<p>◎伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置は、図示の箇所及び仕様により、割付図を作成し監督員の承認を得ること。</p> <p>◎下地のひび割れ誘発目地の位置及び他部材との取合い部には、伸縮調整目地を設ける。</p> <p>◎屋内のタイル張りにおいては、入厨部、建具回り及び設備器具と取合い部に伸縮調整目地を設ける。</p>																																								
2. セメントモルタルによるタイル張り	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状/寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材</th> <th>耐薬液性</th> <th>耐汚性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td>艶消し 艶あり</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注</td> <td>適用</td> <td>有 無</td> <td>有 無</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床</td> <td>150×150</td> <td>B I</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎壁タイル張り工法( )</p> <p>◎標準的な曲がりの役物は一体成形とする。</p> <p>◎タイルの製造所: 評価名簿による。</p> <p>◎見本焼きを(行う・行わない)。</p> <p>◎試験張りを(行う・行わない)。</p> <p>◎試験張りを(行う・行わない)。</p> <p>◎既製適合モルタルの製造所: 評価名簿による。</p> <p>◎床木材の混入量は、実積等の資料を提出したうえで、監督員の承認を得ること。</p>	施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材	耐薬液性	耐汚性	備考			I類 II類 III類	艶消し 艶あり	有 無	標準 特注	適用	有 無	有 無		床	150×150	B I		○	○			○											
施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材	耐薬液性	耐汚性	備考																																
		I類 II類 III類	艶消し 艶あり	有 無	標準 特注	適用	有 無	有 無																																	
床	150×150	B I		○	○			○																																	
3. 有機接着剤によるタイル張り	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状/寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材</th> <th>耐薬液性</th> <th>耐汚性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td>艶消し 艶あり</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注</td> <td>適用</td> <td>有 無</td> <td>有 無</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外壁</td> <td>220×35</td> <td>A II</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>藍色</td> </tr> <tr> <td>内壁</td> <td>1200×600</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>ボロン同等品</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎タイルの製造所: 評価名簿による。</p> <p>◎見本焼きを(行う・行わない)。</p> <p>◎試験張りを(行う・行わない)。</p> <p>◎標準的な曲がりの役物は一体成形とする。</p>	施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材	耐薬液性	耐汚性	備考			I類 II類 III類	艶消し 艶あり	有 無	標準 特注	適用	有 無	有 無		外壁	220×35	A II		○	○			○	藍色	内壁	1200×600			○	○			○	ボロン同等品
施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材	耐薬液性	耐汚性	備考																																
		I類 II類 III類	艶消し 艶あり	有 無	標準 特注	適用	有 無	有 無																																	
外壁	220×35	A II		○	○			○	藍色																																
内壁	1200×600			○	○			○	ボロン同等品																																
4. 陶磁器質タイル型枠先付け	<table border="1"> <thead> <tr> <th>型枠先付種別</th> <th>タイルの種類</th> <th>せき板の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>役物の使用場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工場所</th> <th>形状/寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材</th> <th>耐薬液性</th> <th>耐汚性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td>艶消し 艶あり</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注</td> <td>適用</td> <td>有 無</td> <td>有 無</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎タイルの製造所: 評価名簿による。</p> <p>◎見本焼きを(行う・行わない)。</p> <p>◎試験張りを(行う・行わない)。</p> <p>◎標準的な曲がりの役物は一体成形とする。</p>	型枠先付種別	タイルの種類	せき板の種類	施工箇所	役物の使用場所						施工場所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材	耐薬液性	耐汚性	備考			I類 II類 III類	艶消し 艶あり	有 無	標準 特注	適用	有 無	有 無											
型枠先付種別	タイルの種類	せき板の種類	施工箇所	役物の使用場所																																					
施工場所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材	耐薬液性	耐汚性	備考																																
		I類 II類 III類	艶消し 艶あり	有 無	標準 特注	適用	有 無	有 無																																	
5. 有機接着剤	<p>◎ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承認を得るものとする。</p>																																								
6. 試験	◎接着力試験を(行う・行わない)。																																								
12章 木工事																																									
1. 一般事項	<p>◎工事現場搬入時の含水率は(A・B)種とする。</p> <p>◎木材の品質</p> <p>・保存処理木材は、日本農林規格に規定する保存処理の処理区分のうち、K2からK4までの保存処理(JIS K 1570(木材保存剤)に規定する木材保存剤(ただし、クレオソート油は有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律(昭和48年法律第112号)に適合したものとする。)、これと同等の薬剤を用いたK2からK4までの薬剤の浸透度及び吸収量を確保する工場処理その他これと同等の性能を有する処理を含む。)が施されているもの又は認定木材検査(A0マーク表示)として認定された保存処理材を使用するものとする。</p> <p>・樹種及び等級</p>																																								

項目	特記事項																								
13章 屋根及びふた工事																									
1. 一般事項	<p>◎屋根葺き材、緊結金物については、下地も含め安全性を確認し、監督員の承認を得ること。</p> <p>◎標準仕様書以外の工法は、専門業者の仕様による。</p> <p>◎建築基準法に基づき定められた区分等</p> <p>基準風速 Vo=( 36 )m/s</p> <p>地表面積度区分 ( I・II・III・IV )</p> <p>積雪区分 建設省告示第1455号 別表( )</p>																								
2. 膜屋根	<p>◎材質: 7素樹脂系酸化チタン光触媒膜</p> <p>◎厚さ: 0.6mm</p> <p>◎不燃材料 MME-M-9029 (建築基準法第37条第二号)、NM-8665 (建築基準法第2条第九号)</p> <p>◎建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔、固定方法を施工計画書として提出する。</p> <p>◎指定のない付属材料は、屋根工法に応じた専門工事業者の仕様による。</p>																								
5. とい	<p>◎とい受金物 形状(第4号 2-16 SUS) 取付間隔( #500 )</p> <p>◎材質( SUS t=1.5 7素系樹脂付塗装 ) 径( 300×225 )</p> <p>◎防露の施工箇所は図示により、図示のもの以外は仕様13.5.3(4)による。ロッキング又はガラスウール保温面のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆のロッキング又はガラスウール保温面を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承認を得るものとする。</p> <p>◎鋼管製といの防露巻きは、図示による。それ以外の場合は、仕様表13.5.4Iにより行う。</p> <p>◎複層強化ビニール膜といの1本の長さは、10m以内とし、伸縮に対応する工法を選択すること。</p> <p>◎ルーフレンの種別( 鉄鉄、SUS )</p> <p>◎ルーフレンの製造所: 評価名簿による。</p> <p>◎ルーフレン及びといは、取付け完了後、清掃し、通水試験を行う。</p> <p>◎さきり止めは図面により、図示のもの以外は仕様13.5.3(1)(イ)又は13.5.3(5)(イ)による。</p>																								
14章 金属工事																									
1. 一般事項	<p>◎製品の取付に当たっては、受材の有無並びにアンカーの長さ、径及び本数等について、十分耐力のある工法を選択し、監督員の承認を得ること。</p> <p>◎あと施工アンカーの引抜き耐力の確認試験を(行う・行わない)。</p> <p>確認強度は、( )kNとする。</p>																								
2. 表面処理	<p>◎ステンレス(手すり、タラップ、建具以外)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SUS304</td> <td>HL</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎アルミニウム及びアルミニウム合金(成形板、笠木、建具以外)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面処理の種類</th> <th>被膜又は被合被膜の種類・着色方法・色名等</th> <th>表面処理の試験方法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7R7付処理</td> <td>二次電解着色</td> <td></td> <td>目隠しカーブ、ドア手開閉器具</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎鉄鋼の亜鉛めっき(手すり、タラップ以外)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>表面処理方法</th> <th>めっきの種類</th> <th>記号又は等級</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D種</td> <td>溶融亜鉛付</td> <td>2種</td> <td>HDZ35</td> <td>手摺</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	表面仕上げの種類	施 工 箇 所	SUS304	HL		表面処理の種類	被膜又は被合被膜の種類・着色方法・色名等	表面処理の試験方法	施 工 箇 所	7R7付処理	二次電解着色		目隠しカーブ、ドア手開閉器具	種別	表面処理方法	めっきの種類	記号又は等級	施 工 箇 所	D種	溶融亜鉛付	2種	HDZ35	手摺
種 類	表面仕上げの種類	施 工 箇 所																							
SUS304	HL																								
表面処理の種類	被膜又は被合被膜の種類・着色方法・色名等	表面処理の試験方法	施 工 箇 所																						
7R7付処理	二次電解着色		目隠しカーブ、ドア手開閉器具																						
種別	表面処理方法	めっきの種類	記号又は等級	施 工 箇 所																					
D種	溶融亜鉛付	2種	HDZ35	手摺																					
3. 溶接、ろう付け等	<p>◎溶接及びろう付けによる接合後は、各表面仕上げの種類別の皮膜処理を行うこと。ただし、亜鉛めっき面については、仕様14.2.3Iによる。</p> <p>◎鉄の溶接は、7章「鉄骨工事」に準ずる。</p>																								
4. 軽量鉄骨天井下地	<p>◎野縁などの種類、屋内19形、屋外25形とし、仕様表14.4.1Iによる。</p> <p>◎耐震性を考慮した補強及び屋外の軒天、ピロティータン等における耐風圧性を考慮した補強は、図示による。</p> <p>◎建築基準法に基づき定められた区分等</p> <p>基準風速 Vo=( 36 )m/s</p> <p>地表面積度区分 ( I・II・III・IV )</p> <p>積雪区分 建設省告示第1455号 別表( )</p> <p>◎屋外の野縁受・吊りボルト及びインサート・野縁の間隔は図示による。</p> <p>◎ダクト等によって、吊りボルトの間隔が900mmを超える場合、補強方法は図示による。</p> <p>◎天井のふところがない1.5m以上の箇所の補強方法は図示による。</p> <p>◎天井下地材における耐震性を考慮した補強方法は図示による。</p>																								
5. 軽量鉄骨壁下地	<p>◎スタッド、ランナーの種類は、標準仕様書14.5.3(表14.5.1I)による。</p> <p>◎出入口及びこれに準ずる開口部の補強は(仕様14.5.4(5) )による。</p>																								
8. 手すり及びタラップ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>表面処理</th> <th>直径</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ｽﾀｰﾙ</td> <td>溶融亜鉛付</td> <td>φ34</td> <td>外部手摺</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SUS</td> <td>HL</td> <td></td> <td>ﾀﾗｯﾌﾟ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎手すりの支柱は、コンクリートあるいはモルタルの中に入る部分であっても錆止め処理を行うこと。</p>	材種	表面処理	直径	取付箇所	備考	ｽﾀｰﾙ	溶融亜鉛付	φ34	外部手摺		SUS	HL		ﾀﾗｯﾌﾟ										
材種	表面処理	直径	取付箇所	備考																					
ｽﾀｰﾙ	溶融亜鉛付	φ34	外部手摺																						
SUS	HL		ﾀﾗｯﾌﾟ																						

項目	特記事項																		
10. 天井点検口	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7R7</td> <td>450角</td> <td></td> <td>目地</td> <td>目地</td> </tr> <tr> <td>7R7</td> <td>600角</td> <td></td> <td>目地</td> <td>目地</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎製作所: 評価名簿による。</p>	材種	寸法	形式	外枠	内枠	7R7	450角		目地	目地	7R7	600角		目地	目地			
材種	寸法	形式	外枠	内枠															
7R7	450角		目地	目地															
7R7	600角		目地	目地															
11. 床点検口	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SUS</td> <td>600角</td> <td>ﾀﾞｯｸﾌﾟﾗｯｸ形式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎製作所: 評価名簿による。</p>	材種	寸法	形式	備考	SUS	600角	ﾀﾞｯｸﾌﾟﾗｯｸ形式											
材種	寸法	形式	備考																
SUS	600角	ﾀﾞｯｸﾌﾟﾗｯｸ形式																	
15章 左官工事																			
1. 一般事項	<p>◎下地調整に用いる級水調整材の使用方法は、製造所の仕様による。</p> <p>◎コンクリート等面の下地及び各層層は、清掃のうえ適度の水湿しを行って、次の層の塗り方にかかる。</p>																		
2. モルタル塗り	<p>◎モルタルは(現場混合材料・既配合材料)。</p> <p>◎下地、塗り面等の浮いている部分は、直ちに補修する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用箇所</th> <th>仕上の種類</th> <th>目地の材質</th> <th>防水の有無</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎防水剤の製造所: 評価名簿による。</p> <p>◎目地の位置及び寸法は、図示による。</p> <p>◎防水モルタルに用いる防水剤の使用方法は、製造所の仕様による。</p> <p>◎乾塗り厚が25mm以上となる場合は、はく落し工法とする。</p>	使用箇所	仕上の種類	目地の材質	防水の有無	備 考													
使用箇所	仕上の種類	目地の材質	防水の有無	備 考															
3. 床コンクリート直直し仕上げ	◎施工箇所( コックﾄﾞﾗｯﾌﾟ 全般 )																		
4. セルフレベリング材塗り	<p>◎セルフレベリング材の種類(せつこう系・セメント系)</p> <p>塗り厚さ( )mm</p> <p>施工箇所は、(仕上表による・図示による)。</p> <p>◎シーラーその他の材料は、セルフレベリング材製造所の指定する製品とする。</p>																		
5. 仕上げ塗材仕上げ	<p>◎仕上げ塗材は、JIS A 6909(建築用仕上げ塗材)による。なお、下塗材、塗塗材、主材及び上塗材は、同一製造所の製品とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>呼び名</th> <th>上塗材</th> <th>仕上げの形状</th> <th>耐水性</th> <th>工 法</th> <th>防火認定</th> <th>下地仕上</th> <th>下地調整</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>複層仕上げ塗材E</td> <td>7R7付</td> <td>凹凸状</td> <td></td> <td>吹付</td> <td></td> <td></td> <td>C-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎建物内部に使用するユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は、(F☆☆☆☆・F☆☆☆☆)とする。</p> <p>◎下地処理として内装ALパネルの目地部の形状は、( )とする。</p> <p>◎所要量等の確認は、(仕様表15.6.4.単位重量当たりの使用量)による。</p>	種 類	呼び名	上塗材	仕上げの形状	耐水性	工 法	防火認定	下地仕上	下地調整		複層仕上げ塗材E	7R7付	凹凸状		吹付			C-2
種 類	呼び名	上塗材	仕上げの形状	耐水性	工 法	防火認定	下地仕上	下地調整											
	複層仕上げ塗材E	7R7付	凹凸状		吹付			C-2											
6. マスチック塗材塗り	◎種別( A種、 B種(仕上げ塗材): EP-G( A種、 B種 )																		
7. せつこうプラスチック塗り	◎プラスチックは、JIS A 6904(せつこうプラスチック)による。なお、せつこうプラスチックは、製造後4か月以上経過したものは使用しない。																		
8. ロッキングウール吹付	<p>◎ロッキングウールは、JIS A 9504により建築基準法に基づき不燃材料の指定又は認定を受けたものとする。ロッキングウールのホルムアルデヒド発散量は、(F☆☆☆☆・F☆☆☆☆)とする。</p> <p>◎接着剤のホルムアルデヒド発散量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承認を得るものとする。</p> <p>◎吹付厚さ ( )mm</p> <p>◎吹付完了後、施工者の施工管理担当者は、厚さ及びかさ比重の検査を行い、合格後、防火材料の認定マークを1面2か所以上貼り付けること。</p>																		



項目	特記事項																
<b>16章 建築工事</b>																	
1. 一般事項	<p>◎外部に面する建具は、建築基準法施行令及び「屋根ふき材、外装材及び屋外に面する構壁の基準（昭和46年建設省告示第109号）」に基づき、安全性を確認すること。</p> <p>◎防火戸の指定は建具表による。</p> <p>◎建具見本の製作及び特殊な建具の取組は、建具表による。</p> <p>◎防火建具部品の適用は、建具表による。</p>																
2. アルミニウム製建具	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込寸法</th> <th>使用箇所</th> <th>表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B種</td> <td>S-5</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>70</td> <td>外部</td> <td>二次電解着色</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎結露水の処理方法は図示による。</p> <p>◎防虫網の材質（ステンレス製（SUS316）・ガラス繊維入り合成樹脂製・合成樹脂製）</p> <p>◎防鳥網の材質は、ステンレス（SUS304）線材、線径1.5mm、ピッチ15mmとする。</p> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p> <p>◎建具には製作業者名を表示すること。</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込寸法	使用箇所	表面処理	B種	S-5	A-3	W-4	70	外部	二次電解着色		
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込寸法	使用箇所	表面処理											
B種	S-5	A-3	W-4	70	外部	二次電解着色											
3. 樹脂製建具	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込寸法</th> <th>使用箇所</th> <th>表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ガラスの種類（ ）</p> <p>◎防虫網の材質（ステンレス製（SUS316）・ガラス繊維入り合成樹脂製・合成樹脂製）</p> <p>◎防鳥網の材質は、ステンレス（SUS304）線材、線径1.5mm、ピッチ15mmとする。</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込寸法	使用箇所	表面処理									
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込寸法	使用箇所	表面処理											
4. 鋼製建具	<table border="1"> <thead> <tr> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>遮音性</th> <th>断熱性</th> <th>室内変形追従性</th> <th>使用箇所</th> <th>表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>A-3</td> <td>W-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>外部</td> <td>焼付塗装</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎防火戸の指定及び鋼板の厚さは、建具表による。</p> <p>◎簡易気密型ドアセットの構密性、水密性は建具表による。</p> <p>◎鋼板は、JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）による表面処理塗粉めっき鋼板とし、めっき付着量は（ ）以上とする。</p> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p> <p>◎標準型鋼製建具は、幅仕16.4.6により寸法及び金物を標準化したものとする。</p>	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性	断熱性	室内変形追従性	使用箇所	表面処理		A-3	W-1				外部	焼付塗装
耐風圧性	気密性	水密性	遮音性	断熱性	室内変形追従性	使用箇所	表面処理										
	A-3	W-1				外部	焼付塗装										
5. 鋼製軽量建具	<table border="1"> <thead> <tr> <th>気密性</th> <th>遮音性</th> <th>断熱性</th> <th>室内変形追従性</th> <th>使用箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>屋内建具</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎簡易気密型ドアセットの構密性、水密性は建具表による。</p> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p> <p>◎標準型鋼製軽量建具は、幅仕16.5.6により寸法及び金物を標準化したものとする。</p>	気密性	遮音性	断熱性	室内変形追従性	使用箇所	備考	A-3				屋内建具					
気密性	遮音性	断熱性	室内変形追従性	使用箇所	備考												
A-3				屋内建具													
6. ステンレス製建具	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">表面の仕上げ</th> <th>逃げ加工の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼板等：HL</td> <td>くつぎり：HL</td> <td>音<sup>①</sup>け<sup>②</sup>・角出し<sup>③</sup>逃げ</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p> <p>◎簡易気密型ドアセットの構密性、水密性は建具表による。</p> <p>◎建具材の含水率の種別は、（A・B・C）種とする。</p> <p>◎見込み寸法は、（ ）mmとする。</p> <p>◎フラッシュ戸の表面材の含板の品質について、ホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆のフラッシュ戸を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。その他は、幅仕16.7.2(2)(3)(b)(c)による。</p> <p>◎表面板の厚さは、（ ）mmとする。</p> <p>◎かまち戸のかまち及び鏡板の材質は、（ ）とする。</p> <p>◎ふすまの上張り材は、（鳥の子・新高の子・ビニル紙）とする。</p> <p>◎ふすまの縁の性上りは、（塗り縁・生地縁（素地）・生地縁（ウレタンクリアー塗装））とする。</p> <p>◎枠及びくつぎりの材料（ ）とする。</p> <p>◎建物内部の木製建具に使用するホルムアルデヒド水溶液を用いた造作用、壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆のでん粉系接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p>	表面の仕上げ		逃げ加工の方法	鋼板等：HL	くつぎり：HL	音 <sup>①</sup> け <sup>②</sup> ・角出し <sup>③</sup> 逃げ										
表面の仕上げ		逃げ加工の方法															
鋼板等：HL	くつぎり：HL	音 <sup>①</sup> け <sup>②</sup> ・角出し <sup>③</sup> 逃げ															
7. 木製建具	<p>◎金物の種類及び見出し部の材質は、幅仕 表16.8.11による。</p> <p>◎金属製建具に使用する丁番は幅仕表16.8.21による。</p> <p>◎既製又はこれに準ずる建具の建具金物は、建具製作所の仕様による。</p> <p>◎樹脂製建具に使用する丁番は幅仕表16.8.31による。</p> <p>◎握り及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置は図示による。</p> <p>◎木製建具に使用する丁番は幅仕表16.8.41による。</p> <p>◎木製建具に使用する戸車及びレールは幅仕表16.8.51による。</p> <p>◎マスターキーは、製作する（ ）種。その他の鍵の製作本数は（ ）種。</p>																
8. 建具用金物	<p>◎金物の種類及び見出し部の材質は、幅仕 表16.8.11による。</p> <p>◎金属製建具に使用する丁番は幅仕表16.8.21による。</p> <p>◎既製又はこれに準ずる建具の建具金物は、建具製作所の仕様による。</p> <p>◎樹脂製建具に使用する丁番は幅仕表16.8.31による。</p> <p>◎握り及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置は図示による。</p> <p>◎木製建具に使用する丁番は幅仕表16.8.41による。</p> <p>◎木製建具に使用する戸車及びレールは幅仕表16.8.51による。</p> <p>◎マスターキーは、製作する（ ）種。その他の鍵の製作本数は（ ）種。</p>																

項目	特記事項																											
<b>9. 自動ドア開閉装置</b>																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>風除室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駆動方式</td> <td>電動</td> </tr> <tr> <td>センサー</td> <td>熱線</td> </tr> <tr> <th>ドア開閉装置の種類</th> <th>引分け</th> </tr> <tr> <td>ドアの開閉方式</td> <td>引分け</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p>	設置場所	風除室	駆動方式	電動	センサー	熱線	ドア開閉装置の種類	引分け	ドアの開閉方式	引分け																	
設置場所	風除室																											
駆動方式	電動																											
センサー	熱線																											
ドア開閉装置の種類	引分け																											
ドアの開閉方式	引分け																											
<b>10. 自閉式上吊り引閉装置</b>																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>居室一般</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適用戸の総質量(kg)</td> <td>40kg以下</td> </tr> <tr> <td>手動開き力(N)</td> <td>15N以下</td> </tr> <tr> <td>手動閉じ力(N)</td> <td>15N以下</td> </tr> <tr> <td>閉じ速度の調整</td> <td>調整装置</td> </tr> <tr> <td>制動区間</td> <td>閉まり際で減速</td> </tr> <tr> <td>開閉繰り返し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐衝撃性</td> <td>1回の衝撃で有害な変形がなく、開閉可能なこと</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p>	設置場所	居室一般	適用戸の総質量(kg)	40kg以下	手動開き力(N)	15N以下	手動閉じ力(N)	15N以下	閉じ速度の調整	調整装置	制動区間	閉まり際で減速	開閉繰り返し		耐衝撃性	1回の衝撃で有害な変形がなく、開閉可能なこと											
設置場所	居室一般																											
適用戸の総質量(kg)	40kg以下																											
手動開き力(N)	15N以下																											
手動閉じ力(N)	15N以下																											
閉じ速度の調整	調整装置																											
制動区間	閉まり際で減速																											
開閉繰り返し																												
耐衝撃性	1回の衝撃で有害な変形がなく、開閉可能なこと																											
<b>11. 重量シャッター</b>																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>器具庫、進入路</th> <th>耐風圧強度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>強度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>シャッターの種類</td> <td>・管理用シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター</td> <td>◎外壁用防火シャッター</td> </tr> <tr> <td>開閉機能</td> <td>◎上部電動式(手動併用) ・上部手動式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全装置</td> <td>保護スイッチ、障害物感知装置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シャッターケース仕様</td> <td>防火シャッター仕様</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p>	設置場所	器具庫、進入路	耐風圧強度	強度			シャッターの種類	・管理用シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター	◎外壁用防火シャッター	開閉機能	◎上部電動式(手動併用) ・上部手動式		安全装置	保護スイッチ、障害物感知装置		シャッターケース仕様	防火シャッター仕様										
設置場所	器具庫、進入路	耐風圧強度																										
強度																												
シャッターの種類	・管理用シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター	◎外壁用防火シャッター																										
開閉機能	◎上部電動式(手動併用) ・上部手動式																											
安全装置	保護スイッチ、障害物感知装置																											
シャッターケース仕様	防火シャッター仕様																											
<b>12. 軽量シャッター</b>																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>エントランス</th> <th>耐風圧強度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>強度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>開閉装置</td> <td>◎上部電動式(手動併用) ・手動式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全装置</td> <td>障害物感知装置、停電時手動開閉装置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラット仕様</td> <td>SUSガル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シャッターケース仕様</td> <td>SUS板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガイドレール仕様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中柱の構造</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>座板</td> <td>SUS板</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p>	設置場所	エントランス	耐風圧強度	強度			開閉装置	◎上部電動式(手動併用) ・手動式		安全装置	障害物感知装置、停電時手動開閉装置		スラット仕様	SUSガル		シャッターケース仕様	SUS板		ガイドレール仕様			中柱の構造			座板	SUS板	
設置場所	エントランス	耐風圧強度																										
強度																												
開閉装置	◎上部電動式(手動併用) ・手動式																											
安全装置	障害物感知装置、停電時手動開閉装置																											
スラット仕様	SUSガル																											
シャッターケース仕様	SUS板																											
ガイドレール仕様																												
中柱の構造																												
座板	SUS板																											
<b>14. ガラス</b>																												
	<p>◎板ガラス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>品 種</th> <th>厚 さ</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>板ガラス</td> <td>建具表参照</td> <td>建具表参照</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎外部の網入り硝子等の下辺小口及び小口下端の防錆処理を行うこと。</p> <p>◎ガラス留め材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>留め材の種類</th> <th>材 種</th> <th>ガラス溝の大きさ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>銅 製</td> <td>SR-1</td> <td>建具製造所の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>SR-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>SR-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木 製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹 脂 製</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎防火設備のガラスとめ材は、防火設備認定品とする。</p> <p>◎シーリング材は、幅仕 表9.7.1による。</p> <p>◎金属製化粧カバーの材質は、（ ）製とし、寸法、形状は、図示による。</p> <p>◎工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。</p>	種類	品 種	厚 さ	備 考	板ガラス	建具表参照	建具表参照		留め材の種類	材 種	ガラス溝の大きさ	銅 製	SR-1	建具製造所の仕様による。	アルミニウム製	SR-1		ステンレス製	SR-1		木 製			樹 脂 製			
種類	品 種	厚 さ	備 考																									
板ガラス	建具表参照	建具表参照																										
留め材の種類	材 種	ガラス溝の大きさ																										
銅 製	SR-1	建具製造所の仕様による。																										
アルミニウム製	SR-1																											
ステンレス製	SR-1																											
木 製																												
樹 脂 製																												
<b>15. ガラス用フィルム</b>																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>種 類</th> <th>張り面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガラス飛散防止フィルム</td> <td>第2種</td> <td>建具表参照</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎品質はJIS A 5759による。</p>	名 称	種 類	張り面	ガラス飛散防止フィルム	第2種	建具表参照																					
名 称	種 類	張り面																										
ガラス飛散防止フィルム	第2種	建具表参照																										

項目	特記事項																																																																																																								
<b>18章 塗装工事</b>																																																																																																									
1. 一般事項	<p>◎防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。</p> <p>◎塗料はホルムアルデヒド不抽出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。</p> <p>◎ユリア樹脂等（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p>																																																																																																								
2. 合成樹脂顔料ペイント塗り(SOP)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>種 別</th> <th>素地</th> <th>さび止め塗料</th> <th>さび止め工程の種類</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鉄部</td> <td>屋外</td> <td>ごしらえ</td> <td>B種</td> <td>A種</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">コンクリート面</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	種 別	素地	さび止め塗料	さび止め工程の種類	備 考	鉄部	屋外	ごしらえ	B種	A種	B種	屋内					コンクリート面																																																																																						
区 分	種 別	素地	さび止め塗料	さび止め工程の種類	備 考																																																																																																				
鉄部	屋外	ごしらえ	B種	A種	B種																																																																																																				
	屋内																																																																																																								
コンクリート面																																																																																																									
3. 耐候性塗料(OP)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>工程種別</th> <th>素地ごしらえ</th> <th>上塗りの等級</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鉄部</td> <td></td> <td>B種</td> <td>1級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>B種</td> <td>1級</td> <td>クリア</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	工程種別	素地ごしらえ	上塗りの等級	備 考	鉄部		B種	1級		コンクリート面	B種	1級	クリア																																																																																										
区 分	工程種別	素地ごしらえ	上塗りの等級	備 考																																																																																																					
鉄部		B種	1級																																																																																																						
	コンクリート面	B種	1級	クリア																																																																																																					
4. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EF-0)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>工程種別</th> <th>素地ごしらえ</th> <th>さび止め塗料</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>B種</td> <td>B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	工程種別	素地ごしらえ	さび止め塗料	備 考	コンクリート面	B種	B種																																																																																																
区 分	工程種別	素地ごしらえ	さび止め塗料	備 考																																																																																																					
コンクリート面	B種	B種																																																																																																							
5. 合成樹脂エマルジョンペイント塗料(EF)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">素地ごしらえ</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボード面</td> <td></td> <td>B種</td> <td>B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	種 別		素地ごしらえ	備 考	屋外	屋内	ボード面		B種	B種																																																																																													
区 分	種 別		素地ごしらえ	備 考																																																																																																					
	屋外	屋内																																																																																																							
ボード面		B種	B種																																																																																																						
6. 油性ステイン塗り(OS)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>素地ごしらえ</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	素地ごしらえ	備 考	木部	B種																																																																																																			
区 分	素地ごしらえ	備 考																																																																																																							
木部	B種																																																																																																								
7. 木材保護塗料塗り(NP)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>種 別</th> <th>素地ごしらえ</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	種 別	素地ごしらえ	備 考	木部	B種																																																																																																		
区 分	種 別	素地ごしらえ	備 考																																																																																																						
木部	B種																																																																																																								
<b>19章 内装工事</b>																																																																																																									
項 目																																																																																																									
1. ビニル床シート張、ビニル床タイル張及びゴム床タイル張	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材質</th> <th rowspan="2">種類の種類</th> <th rowspan="2">色 柄</th> <th rowspan="2">厚 さ</th> <th colspan="2">幅 木</th> <th rowspan="2">接着剤</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>厚 さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビニル床シート</td> <td>FS</td> <td>ナール</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>居室一般</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>FS</td> <td>ナール</td> <td>2.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>丸刈樹脂</td> <td>2F4L /カマド同等</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎帯電防止床シート：種類（ ）種、厚さ（4.0）、性能（0A用帯電防止）</p> <p>◎耐動荷重性床シート：種類（ ）種、厚さ（ ）</p> <p>◎ビニル床木：材質（ ）種、厚さ（ ）種、高さ（ ）種、厚さ（ ）</p>	材質	種類の種類	色 柄	厚 さ	幅 木		接着剤	施工箇所	備 考	材質	厚 さ	ビニル床シート	FS	ナール	2.0				居室一般		ビニル床タイル	FS	ナール	2.5				丸刈樹脂	2F4L /カマド同等																																																																											
材質	種類の種類					色 柄	厚 さ				幅 木		接着剤	施工箇所	備 考																																																																																										
		材質	厚 さ																																																																																																						
ビニル床シート	FS	ナール	2.0				居室一般																																																																																																		
ビニル床タイル	FS	ナール	2.5				丸刈樹脂	2F4L /カマド同等																																																																																																	
2. カーベット敷き	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種 別</th> <th>品 質</th> <th>帯電性</th> <th>厚 さ</th> <th>工 法</th> <th>防火性能</th> <th>下 敷</th> <th>品質検査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	種 別	品 質	帯電性	厚 さ	工 法	防火性能	下 敷	品質検査																																																																																															
種 類	種 別	品 質	帯電性	厚 さ	工 法	防火性能	下 敷	品質検査																																																																																																	
6. セッコウボードその他ボード及び合板張り	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種・規格品</th> <th>施工箇所</th> <th>工 法</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>不燃材等の区分</th> <th>小口・釘・接着剤の種類</th> <th>下地の種類</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>せっこうボード</td> <td>壁</td> <td>突付</td> <td>12.5</td> <td>不燃</td> <td>カリュース</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JIS A 6901の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>12.5</td> <td>不燃</td> <td>カリュース</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧せっこうボード トラバーチン模様 JIS A 6901の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>9.5</td> <td>不燃</td> <td>カリュース</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸音用穴あきせっこうボード JIS A 6301の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>9.0</td> <td>不燃</td> <td>カリュース</td> <td>GR-指張</td> <td></td> </tr> <tr> <td>強化せっこうボード JIS A 6901の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>9.0</td> <td>不燃</td> <td>カリュース</td> <td>GR-指張</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロックウール化粧吸音板 JIS A 6301の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>9.0</td> <td>不燃</td> <td>カリュース</td> <td>GR-指張</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音材 JIS A 6301の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>50</td> <td>不燃</td> <td>カリュース</td> <td>RC</td> <td>50mm厚</td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音材 JIS A 6301の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>50</td> <td>不燃</td> <td>カリュース</td> <td>RC</td> <td>50mm厚</td> </tr> <tr> <td>ロックウール保温材 JIS A 5604の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>50</td> <td>不燃</td> <td>カリュース</td> <td>RC</td> <td>50mm厚</td> </tr> <tr> <td>木セメント板 JIS A 5404の規格品</td> <td>壁</td> <td>突付</td> <td>6.0</td> <td>不燃</td> <td>カリュース</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付い離カルシウム板 JIS A 5430の規格品</td> <td>壁</td> <td>突付</td> <td>6.0</td> <td>不燃</td> <td>カリュース</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>火山性ガラス複層板(VSボード) JIS A 5440の規格品</td> <td>天井</td> <td>目達し</td> <td>6.0</td> <td>不燃</td> <td>カリュース</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎合板、パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の合板、パーティクルボード及びMDFを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p>	材種・規格品	施工箇所	工 法	厚 さ(mm)	不燃材等の区分	小口・釘・接着剤の種類	下地の種類	備 考	せっこうボード	壁	突付	12.5	不燃	カリュース	LGS		JIS A 6901の規格品	天井	突付	12.5	不燃	カリュース	LGS		化粧せっこうボード トラバーチン模様 JIS A 6901の規格品	天井	突付	9.5	不燃	カリュース	LGS		吸音用穴あきせっこうボード JIS A 6301の規格品	天井	突付	9.0	不燃	カリュース	GR-指張		強化せっこうボード JIS A 6901の規格品	天井	突付	9.0	不燃	カリュース	GR-指張		ロックウール化粧吸音板 JIS A 6301の規格品	天井	突付	9.0	不燃	カリュース	GR-指張		ロックウール吸音材 JIS A 6301の規格品	天井	突付	50	不燃	カリュース	RC	50mm厚	グラスウール吸音材 JIS A 6301の規格品	天井	突付	50	不燃	カリュース	RC	50mm厚	ロックウール保温材 JIS A 5604の規格品	天井	突付	50	不燃	カリュース	RC	50mm厚	木セメント板 JIS A 5404の規格品	壁	突付	6.0	不燃	カリュース	LGS		付い離カルシウム板 JIS A 5430の規格品	壁	突付	6.0	不燃	カリュース	LGS		火山性ガラス複層板(VSボード) JIS A 5440の規格品	天井	目達し	6.0	不燃	カリュース	LGS	
材種・規格品	施工箇所	工 法	厚 さ(mm)	不燃材等の区分	小口・釘・接着剤の種類	下地の種類	備 考																																																																																																		
せっこうボード	壁	突付	12.5	不燃	カリュース	LGS																																																																																																			
JIS A 6901の規格品	天井	突付	12.5	不燃	カリュース	LGS																																																																																																			
化粧せっこうボード トラバーチン模様 JIS A 6901の規格品	天井	突付	9.5	不燃	カリュース	LGS																																																																																																			
吸音用穴あきせっこうボード JIS A 6301の規格品	天井	突付	9.0	不燃	カリュース	GR-指張																																																																																																			
強化せっこうボード JIS A 6901の規格品	天井	突付	9.0	不燃	カリュース	GR-指張																																																																																																			
ロックウール化粧吸音板 JIS A 6301の規格品	天井	突付	9.0	不燃	カリュース	GR-指張																																																																																																			
ロックウール吸音材 JIS A 6301の規格品	天井	突付	50	不燃	カリュース	RC	50mm厚																																																																																																		
グラスウール吸音材 JIS A 6301の規格品	天井	突付	50	不燃	カリュース	RC	50mm厚																																																																																																		
ロックウール保温材 JIS A 5604の規格品	天井	突付	50	不燃	カリュース	RC	50mm厚																																																																																																		
木セメント板 JIS A 5404の規格品	壁	突付	6.0	不燃	カリュース	LGS																																																																																																			
付い離カルシウム板 JIS A 5430の規格品	壁	突付	6.0	不燃	カリュース	LGS																																																																																																			
火山性ガラス複層板(VSボード) JIS A 5440の規格品	天井	目達し	6.0	不燃	カリュース	LGS																																																																																																			

項目	特記事項																				
7. 壁紙張り	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>防火性能の級別</th> <th>素地ごしらえ</th> <th>不燃材料等の区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居室一般</td> <td>ビニル</td> <td>A種</td> <td></td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の壁紙を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p>	施工箇所	種類	防火性能の級別	素地ごしらえ	不燃材料等の区分	備考	居室一般	ビニル	A種		不燃									
施工箇所	種類	防火性能の級別	素地ごしらえ	不燃材料等の区分	備考																
居室一般	ビニル	A種		不燃																	
8. 断熱・防露	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ</th> <th>工法</th> <th>補修材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発泡ポリスチレン</td> <td>3種B</td> <td>50</td> <td>敷込み</td> <td></td> <td>土間下</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の断熱材を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <p>◎断熱材現場発泡工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場発泡ポリウレタン</td> <td>25</td> <td>図示による</td> <td>A種I</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎製造所： 評価名簿による。</p>	種類	種別	厚さ	工法	補修材	備考	発泡ポリスチレン	3種B	50	敷込み		土間下	種類	厚さ	施工箇所	備考	現場発泡ポリウレタン	25	図示による	A種I
種類	種別	厚さ	工法	補修材	備考																
発泡ポリスチレン	3種B	50	敷込み		土間下																
種類	厚さ	施工箇所	備考																		
現場発泡ポリウレタン	25	図示による	A種I																		
9. 接着剤	<p>◎壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p>																				
20章 ユニット及びその他の工事																					
1. フリーアクセスフロア	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法</th> <th>高さ</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監視員室他</td> <td>パネル</td> <td>500×500</td> <td>150</td> <td>1G</td> <td>3000N</td> <td>OA用強化P4F</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎製造所： 評価名簿による。 ◎タイルカーペットは、帯電防止性能のある防炎品とし、フリーアクセスフロアメーカー標準品を使用すること。厚( )mm ◎施工にあたっては、施工前にフリーアクセスパネル及びタイルカーペットの割付施工図を提出し、承認後に製作施工を行うこと。</p>	施工箇所	構法	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考	監視員室他	パネル	500×500	150	1G	3000N	OA用強化P4F					
施工箇所	構法	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考														
監視員室他	パネル	500×500	150	1G	3000N	OA用強化P4F															
2. 可動間仕切	<table border="1"> <thead> <tr> <th>構造形式の種類</th> <th>構成材の種類</th> <th>遮音性</th> <th>パネル表面仕上</th> <th>使用箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S1</td> <td>スチール</td> <td></td> <td>亜鉛めっき鋼板</td> <td>会議室他</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎可動間仕切のパネルの材料のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量がF☆☆☆☆の可動間仕切のパネルを使用できない場合は、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p>	構造形式の種類	構成材の種類	遮音性	パネル表面仕上	使用箇所	備考	S1	スチール		亜鉛めっき鋼板	会議室他									
構造形式の種類	構成材の種類	遮音性	パネル表面仕上	使用箇所	備考																
S1	スチール		亜鉛めっき鋼板	会議室他																	
3. 移動間仕切	<table border="1"> <thead> <tr> <th>操作方法の種類</th> <th>表面材の材質</th> <th>表面仕上</th> <th>遮音性</th> <th>使用箇所</th> <th>圧接装置</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手動</td> <td>強化ガラス</td> <td>鏡付塗装</td> <td></td> <td>会議室</td> <td>機械駆動式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	操作方法の種類	表面材の材質	表面仕上	遮音性	使用箇所	圧接装置	備考	手動	強化ガラス	鏡付塗装		会議室	機械駆動式							
操作方法の種類	表面材の材質	表面仕上	遮音性	使用箇所	圧接装置	備考															
手動	強化ガラス	鏡付塗装		会議室	機械駆動式																
4. トイレブース	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表面材の種類</th> <th colspan="2">節部</th> <th colspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <th>形状</th> <th>形状</th> <th>形状</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧メラミン樹脂化粧板</td> <td>T型サポート</td> <td></td> <td>非常時解放式</td> <td>7&amp;3押出型材</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。 ◎トイレブースのパネルの材料のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量がF☆☆☆☆のトイレブースのパネルを使用できない場合は、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p>	表面材の種類	節部		ドアエッジ		形状	形状	形状	材質	高圧メラミン樹脂化粧板	T型サポート		非常時解放式	7&3押出型材						
表面材の種類	節部		ドアエッジ																		
	形状	形状	形状	材質																	
高圧メラミン樹脂化粧板	T型サポート		非常時解放式	7&3押出型材																	
5. 視覚障害者用床タイル	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内</td> <td>階段</td> <td>磁器質P4F 300×300</td> <td>9mm</td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>通路、階段</td> <td>磁器質P4F 300×300</td> <td>9mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ブロックパターンはJIS T 9251による。</p>	施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ	屋内	階段	磁器質P4F 300×300	9mm	屋外	通路、階段	磁器質P4F 300×300	9mm								
施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ																		
屋内	階段	磁器質P4F 300×300	9mm																		
屋外	通路、階段	磁器質P4F 300×300	9mm																		
6. 階段滑り止め	<p>◎材種(SUS)、形状(ビニル付、凸付無し)、幅(35)</p> <p>◎取付け方法は(埋込工法・接着工法)とする。</p>																				
8. 鏡	◎防湿性を有するもので、厚さ5mmとする。																				
14. ブラインドボックス及びカーテンボックス	<p>◎溝幅×深さ(mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ●150×100 ・ 図示</p> <p>材 質 ●集成材(仕上:OS)</p> <p>・アルミニウム製</p> <p>表面処理 ・BC-1 ・BC-2(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)</p> <p>反膜等の種類 ※標準仕様書14.2.1による</p> <p>・鋼製(仕上: )</p> <p>・木製</p>																				

項目	特記事項													
17. 流し台ユニット	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材種</th> <th colspan="3">寸法</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>素材:珪藻土</td> <td>1,650</td> <td>650</td> <td>850</td> <td>SUSツラ、混合栓、IHケトルヒーター 天袋、シャワー</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎詳細は共通詳細図による。</p>	材種	寸法			備考	W	D	H	素材:珪藻土	1,650	650	850	SUSツラ、混合栓、IHケトルヒーター 天袋、シャワー
材種	寸法			備考										
	W	D	H											
素材:珪藻土	1,650	650	850	SUSツラ、混合栓、IHケトルヒーター 天袋、シャワー										
20. 既製家具	<p>◎合板、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の合板、MDF及びパーティクルボードを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p>													

項目	特記事項

■ 工事概要

工事名	徳島県蔵本公園ブルスタンド改築工事のうち建築工事	敷地面積	- m2
工事場所	-	建築面積	- m2
工期	-	延床面積	- m2 1階床面積:
工事種別	-	用途地域	-
工事期間	建築工事	防火指定	-
別途工事	電気工事 管工事 空調工事 外構工事		

外部仕上		I 縦縞	
A 屋根1	7系樹脂系酸化付光触媒膜貫き 鋼製トラス下地	J 手摺1	強化ガラス手摺 強化合せガラス t=10+HUSL5受金物共
B 屋根2	7系樹脂系防水仕上<X-1>	K 手摺2	手摺φ34 支柱φ27.2 手摺子φ16 全て溶融亜鉛メッキ仕上
C 外壁1	3ツリ打放し下地調整の上 覆面塗材E	L 間仕切壁	ALC t=100 EP
D 外壁2	化粧型枠3ツリ打放し仕上の上 DP塗表<7系樹脂膜7>	M 立体トラス	溶融亜鉛メッキの上 DP塗表<1級> 7系樹脂膜7 ※防鳥付基 (壁面型7リリ付)
E 外壁3	3ツリ打放し下地調整の上 壁面塗材E	N 鋼製柱	□500×500×16 防錆処理の上 耐火塗料塗 二次部材共
F 軒天・天井	3ツリ打放し下地調整の上 EP-G	O	
G 軒巻	SUS	P	
H 縦縞	SUS φ114 117×117		

■ 共通事項											
品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様
RC	普通コンクリート	SP	高強度コンクリート	FRP	FRP	FRP	FRP	FRP	FRP	FRP	FRP
鋼材	SS400	鋼材	SS400	鋼材	SS400	鋼材	SS400	鋼材	SS400	鋼材	SS400
ガラス	強化ガラス	ガラス	強化ガラス	ガラス	強化ガラス	ガラス	強化ガラス	ガラス	強化ガラス	ガラス	強化ガラス
塗料	7系樹脂系	塗料	7系樹脂系	塗料	7系樹脂系	塗料	7系樹脂系	塗料	7系樹脂系	塗料	7系樹脂系
その他		その他		その他		その他		その他		その他	

■ 特記事項											
・仕上りの記載がない場合は仕上り仕様とする。 ・内装仕上りに使用する材料については、特記なき限りF☆☆☆☆級材料を使用すること。 ・天吊り等の設置については、特記なき限りF☆☆☆☆級材料を使用すること。 ・床仕上り材等異なる部分には特記なき限りF☆☆☆☆級材料を使用すること。 ・外装に用いる鋼製下地材はステンレス製とする。(2階使用)											

階	室番	室名	面積 (㎡)	併置方式	内装制限	床下地	床仕上	巾木	巾木の置き	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	階高	天井高	備考
IFL(+4.96)																
101		風除室	34.04	対象外	d	RC	珪藻質9体 300角	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	壁: 不燃LC2400張 壁: 珪藻粉彩羽目板 厚 t=12 (H+1000)	LGS+GB-R t=12.5	DR t=9	F	2,600	珪藻質内板、排水1'×1'
102		1-1	55.68	各1436号第4(2)室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.5	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS+GB-R t=12.5	DR t=9	F	2,575	珪藻板 3,200x1,200
103		管理室	12.84	各1436号第4(4)居室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.0	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS+GB-R t=12.5	DR t=9	F	2,600	
104		教壇室	10.88	各1436号第4(4)居室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.0	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS+GB-R t=12.5	不燃LC2400張	D	2,600	
105		給湯室	7.13	各1436号第4(4)居室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.0	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS+GB-R t=12.5	不燃LC2400張	D	2,600	3'6"外枠付 L=1,650 IH
106		廊下	20.00	各1436号第4(2)室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.5	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS+GB-R t=12.5	DR t=9	F	2,575	
107		監視員室	21.00	各1436号第4(4)居室	d	RC+OV07	OV用塩化ビニル張 t=4.0	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS+GB-R t=12.5	DR t=9	F	2,600	
108		計時機器室	62.68	各1436号第4(4)居室	d	RC+OV07	OV用塩化ビニル張 t=4.0	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS+GB-R t=12.5	DR t=9	F	2,600	
109		廊下	11.43	各1436号第4(2)室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.5	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS+GB-R t=12.5	DR t=9	F	2,575	
110		放送室	21.42	各1436号第4(4)居室	d	RC+OV07	OV用塩化ビニル張 t=4.0	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS+GB-R t=12.5	DR t=9	F	2,600	
111		倉庫	12.45	各1436号第4(2)室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.0	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS	GB-NC t=9.5	F	2,600	
112		相談室	9.18	各1436号第4(4)居室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.5	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS+GB-R t=12.5	不燃LC2400張	D	2,600	
113		WC	9.24	各1436号第4(2)室	d	RC	B-3沸水+1500角珪藻質9体張	壁に同じ	-	GB-S t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-S t=12.5	珪藻質9体接着張 1200x600	LGS	GB-NC t=9.5	F	2,500	
114		MWC	6.10	各1436号第4(2)室	d	RC	B-3沸水+1500角珪藻質9体張	壁に同じ	-	GB-S t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-S t=12.5	珪藻質9体接着張 1200x600	LGS	GB-NC t=9.5	F	2,500	
115		会議室	138.57	各1436号第4(4)居室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.5	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	珪藻粉彩羽目板 厚 t=12 一部 GB-R 12.5不燃LC2400張	LGS+GB-R t=12.5	DR t=9	F	2,600	
116		招集室	59.95	各1436号第4(4)居室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.0	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS+GB-R t=12.5	DR t=9	F	2,600	
117		器具庫	72.05	各1436号第4(4)居室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.0	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS	GB-NC t=9.5	F	2,600	
118		女子更衣室	24.85	各1436号第4(2)室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.8 (艶付7)	化粧9体板 (化粧鋼鉄材)	60	GB-S t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-S t=12.5	耐摩耗不燃化粧9体板 t=6	LGS+GB-S t=12.5	不燃LC2400張	F	2,600	
119		1'6"×1-1	11.64	各1436号第4(2)室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.8 (艶付7)	化粧9体板 (化粧鋼鉄材)	60	GB-S t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-S t=12.5	耐摩耗不燃化粧9体板 t=6	LGS+GB-S t=12.5	不燃LC2400張	F	2,600	化粧板、変異
120		1'6"×3	12.20	各1436号第4(2)室	d	RC	<3'6"×1'6" 0812付7>	-	-	-	-	-	-	-	2,600	
120		廊下	5.66	各1436号第4(2)室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.8 (艶付7)	化粧9体板 (化粧鋼鉄材)	60	GB-S t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-S t=12.5	耐摩耗不燃化粧9体板 t=6	LGS+GB-S t=12.5	不燃LC2400張	F	2,600	欄
120		廊下	1.14	各1436号第4(2)室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.8 (艶付7)	化粧9体板 (化粧鋼鉄材)	60	GB-S t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-S t=12.5	耐摩耗不燃化粧9体板 t=6	LGS+GB-S t=12.5	不燃LC2400張	F	2,600	
121		授乳室	7.61	各1436号第4(2)室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.5	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS+GB-S t=12.5	不燃LC2400張	F	2,600	3'6"外枠付 L=1,650 IH
122		多WC	10.56	各1436号第4(2)室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.0	切巾木	60	GB-S t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-S t=12.5	耐摩耗不燃化粧9体板 t=6	LGS+GB-S t=12.5	不燃LC2400張	F	2,600	
123		WC	20.49	各1436号第4(2)室	d	RC	B-3沸水+1500角珪藻質9体張	壁に同じ	-	RC	珪藻質9体接着張 1200x600	LGS	GB-NC t=9.5	F	2,600	
124		廊下	15.22	各1436号第4(2)室	d	RC	塩化ビニル張 t=2.5	化粧9体板 (化粧鋼鉄材)	60	GB-S t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-S t=12.5	耐摩耗不燃化粧9体板 t=6	LGS+GB-S t=12.5	不燃LC2400張	F	2,575	
125		廊下	129.69	自然排煙	d	RC	塩化ビニル張 t=2.5	切巾木	60	GB-R t=12.5+H2.5 ※QL部はGB-R t=12.5	不燃LC2400張	LGS+GB-R t=12.5	DR t=9	F	2,575	
126		進入路(1'6"×3)	22.00	各1436号第4(2)室	d	RC	B-3沸水+1500角珪藻質9体張	壁に同じ	-	RC	珪藻質9体接着張 1200x600	LGS	7&12"×1'6"張 (水勾配)	F	2,600	

階	室番	室名	面積 (㎡)	排煙方式	内装 制限	床下地	床仕上	巾木	巾木の 高さ	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	階梯	天井高	備考
	127	H-I	25.32	缶1436号第4C(2)室	d RC		塩ビ9枚張 t=2.5	ソリ巾木	60	GB-R t=12.5+12.5 ※GL部はGB-R t=12.5	不燃C12加阻	LG+S GB-R t=12.5	不燃C12加阻	F	2,575	
	128	WC	20.49	缶1436号第4C(2)室	d RC		B-30水+150角両磁器質9枚張	壁に同じ	-	RC	磁器質9枚張 1200x600	LG	GB-NC t=0.5	F	2,600	
	129	男子更衣室	40.54	缶1436号第4C(2)室	d RC		塩ビ長尺9枚張 t=2.8(継ぎ目)	化粧9枚板 (壁材副資材)	60	GB-R t=12.5+12.5 ※GL部はGB-R t=12.5	耐摩耗不燃化粧9枚板 t=6	LG+S GB-S t=12.5	不燃C12加阻	F	2,600	化粧鏡、変見
	130	3ヶ所x3	4.69	缶1436号第4C(2)室	d RC		<3ヶ所x3ヶ所 08128(1)>	-	-	-	-	-	-	-	2,600	
	130	脱衣	5.28	缶1436号第4C(2)室	d RC		塩ビ長尺9枚張 t=2.8(継ぎ目)	化粧9枚板 (壁材副資材)	60	GB-R t=12.5+12.5 ※GL部はGB-R t=12.5	耐摩耗不燃化粧9枚板 t=6	LG+S GB-S t=12.5	不燃C12加阻	F	2,600	欄
	130	踏込	3.06	缶1436号第4C(2)室	d RC		塩ビ長尺9枚張 t=2.8(継ぎ目)	化粧9枚板 (壁材副資材)	60	GB-R t=12.5+12.5 ※GL部はGB-R t=12.5	耐摩耗不燃化粧9枚板 t=6	LG+S GB-S t=12.5	不燃C12加阻	F	2,600	
	131	多更衣&WC	10.56	缶1436号第4C(2)室	d RC		塩ビ長尺9枚張 t=2.0	化粧9枚板 (壁材副資材)	60	GB-R t=12.5+12.5 ※GL部はGB-R t=12.5	耐摩耗不燃化粧9枚板 t=6	LG+S GB-S t=12.5	不燃C12加阻	F	2,600	
	132	踏込	13.38	缶1436号第4C(2)室	d RC		塩ビ9枚張 t=2.5	化粧9枚板 (壁材副資材)	60	GB-R t=12.5+12.5 ※GL部はGB-R t=12.5	耐摩耗不燃化粧9枚板 t=6	LG+S GB-S t=12.5	不燃C12加阻	F	2,575	
	133	ポンプ室	73.60	缶1436号第4C(2)室	d RC		防塵塗装	-	-	RC	7ヶ所x4ヶ所 t=50㎜32加阻押え	RC	7ヶ所x4ヶ所 t=50㎜32加阻押え	-	3,800	
	134	階段室	18.10	対象外	d RC		塩ビ9枚張 t=2.5	ソリ巾木	60	RC	EP 一部GB-R 12.5+不燃C12加阻	LG	GB-NC t=0.5	F	2,500	壁付樹脂製手摺 φ36、SLS/30ヶ所
	135	1ヶ所x1	42.43	缶1436号第4C(2)室	d RC		1ヶ所x1ヶ所 t=60(7ヶ所x1ヶ所に同じ)	-	-	RC	EP	LG+FK t=6	EP	F	2,600	
2FL																
	201	会議室	41.10	缶1436号第4C(4)居室	d RC		塩ビ9枚張 t=2.5	ソリ巾木	60	GB-R t=12.5+12.5 ※GL部はGB-R t=12.5	不燃C12加阻	LG+S GB-R t=12.5	不燃C12加阻	F	2,600	
	202	倉庫	26.88	缶1436号第4C(2)室	d RC		防塵塗装	-	-	RC	EP	RC	GB-NC t=0.5	-	2,600	
	203	WC	31.55	缶1436号第4C(2)室	d RC	RC内の遮断防水 X-2	防滲性C12床9枚張 t=2.5	RC立上り	-	LG+GB-S 12.5 RC	耐摩耗不燃化粧9枚板 t=6 EP	LG	GB-NC t=0.5	F	2,350	化粧鏡、変見
	204	倉庫	10.02	缶1436号第4C(2)室	d RC		防塵塗装	-	-	RC	EP	RC	GB-NC t=0.5	-	2,600	
	205	多WC	9.00	缶1436号第4C(2)室	d RC	RC内の遮断防水 X-2	防滲性C12床9枚張 t=2.5	RC立上り	-	LG+GB-S 12.5 ALC/GB-S 12.5	耐摩耗不燃化粧9枚板 t=6	LG	GB-NC t=0.5	F	2,400	
	206	多WC	7.41	缶1436号第4C(2)室	d RC	RC内の遮断防水 X-2	防滲性C12床9枚張 t=2.5	RC立上り	-	LG+GB-S 12.5 ALC/GB-S 12.5	耐摩耗不燃化粧9枚板 t=6	LG	GB-NC t=0.5	F	2,400	
	207	WC	31.72	缶1436号第4C(2)室	d RC	RC内の遮断防水 X-2	防滲性C12床9枚張 t=2.5	RC立上り	-	LG+GB-S 12.5 ALC/GB-S 12.5	耐摩耗不燃化粧9枚板 t=6	LG	GB-NC t=0.5	F	2,350	化粧鏡、変見
	208	コンコース	425.19	自然排煙	d RC		外の系遮断防水 X-1(歩行用)	-	-	RC ALC	化粧型枠3ヶ所打設仕上の上 DP塗装 EP	RC	素地	F	5,600	
観覧席上段																
	301	観覧席	1,022.62	自然排煙	d RC PC		RC部:外の系遮断防水 X-1(歩行用) PC部:素地								4,600	

蔵本公園 建築物リスト

S48.12時点(S52.11.1時点)		
番号	施設名	延床面積(m <sup>2</sup> )
①	野球場 本館	430.00
	野球場 スタンド	6550.00
	計	6980.000
②	スコアボード	45.600
④	ブルスタンド	1571.551
⑥	相撲場	100.000
⑧	テニスコート運営棟	158.67
⑩	消防署側トイレ	20.000
⑪	ちびっ子広場トイレ	20.000
⑫	南広場トイレ	20.000
⑮	テニスコート休憩舎	62.000
⑰	ポンプ棟	76.690
⑱	薬草園管理事務所	38.880
㉑	ブルクラブハウス	603.940
㉒	公園管理事務所	124.920
	計	9822.251
	スポーツ関係施設	9521.761
	公園のトイレ、休憩所	60.000
	ポンプ棟、その他施設	240.49

既存不適格 9762.251

- スポーツ関係施設
- 公園のトイレ、休憩所
- ポンプ棟、その他施設

現在					
番号	数	施設名	建築年度	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築面積(m <sup>2</sup> )
①	1	野球場 本館	昭和55年3月10日(改築)	1511.368	3485.460
2	2	野球場 スタンド	昭和55年3月10日(改築)	5600.248	3485.460
	計			7111.616	3485.460
②	3	スコアボード	昭和57年5月31日	140.030	51.630
4	4	ジュニアプール更衣室	昭和56年度	51.678	51.678
5	5	ジュニアプールポンプ室	昭和56年度	16.160	16.160
	計			67.838	67.838
④	6	ブル管理棟	昭和48年度	1571.551	1379.570
7	7	ブル濾過機械室	平成7年度	63.000	63.000
8	8	相撲場	平成17年度(改修)	320.490	320.490
9	9	相撲場更衣室	平成8年3月25日	40.000	40.000
10	10	テニスコート運営棟	平成14年3月15日	196.300	108.360
11	11	テニスコートプロバン庫	平成14年3月15日	1.450	1.450
	計			197.750	109.810
12	12	国道側トイレ	平成4年1月	46.120	46.120
13	13	消防署側トイレ	平成4年1月	46.120	46.120
14	14	ちびっ子広場トイレ	平成4年1月	18.800	20.350
15	15	ちびっ子広場多目的トイレ	平成24年2月29日	9.980	9.980
16	16	南広場トイレ	平成13年3月21日	34.500	58.500
17	17	倉庫	平成5年度	34.000	34.000
18	18	テニスコート休憩舎	平成9年3月(改修)	91.960	91.960
19	19	倉庫	平成16年度	24.800	24.800
20	20	ポンプ棟	令和2年度	9.980	9.980
21	21	薬草園管理事務所	平成4年	38.880	38.880
22	22	倉庫	平成8年	7.200	7.200
23	23	ちびっ子広場休憩舎1		19.000	19.000
24	24	ちびっ子広場休憩舎2		18.000	18.000
	計			37.000	37.000
25	25	南側休憩舎1		27.360	27.360
26	26	南側休憩舎2		95.400	95.400
27	27	南側休憩舎3		22.800	22.800
	計			145.560	145.560
28	28	テニスコート日除け1		11.200	11.200
29	29	テニスコート日除け2		11.200	11.200
	計			22.400	22.400
30	30	25mプール・ジュニアプール間日除け		36.000	36.000
31	31	ジュニアプール北側日除け		23.435	23.435
32	32	ジュニアプール・50mプール間日除け		54.416	54.416
33	33	25mプール・50mプール間日除け		126.416	126.416
	計			240.267	240.267
34	34	飛込みプール1階器具庫		88.454	88.454
35	35	飛込みプール1階テナ側		152.975	152.975
36	36	飛込みプール横通路		113.945	113.945
	計			355.374	355.374
	計			10675.216	6706.289
	スポーツ関係施設	(既存不適格)		10281.076	6286.599
	公園のトイレ、休憩所			338.080	363.630
	ポンプ棟			9.980	9.980
	その他施設	(既存不適格)		46.080	46.080
	既存不適格面積	計		10327.156	10327.156

36棟

建物数	延床面積	建築面積
既存建物	10,675.216	6,706.289
解体2棟	-1,623.229	-1,431.248
ジュニアプール更衣室	1	-51.678
ブル管理棟	1	-1,571.551
解体後全体面積	9,051.987	5,275.041
丸め	9,051.98	5,275.04

ブルスタンド・屋根計画面積		
申請部分	5,502.68	3,944.54
申請以外の部分	9,051.98	5,275.04
合計	14,554.66	9,219.58

解体

改築+大規模設置

大原現置預り分

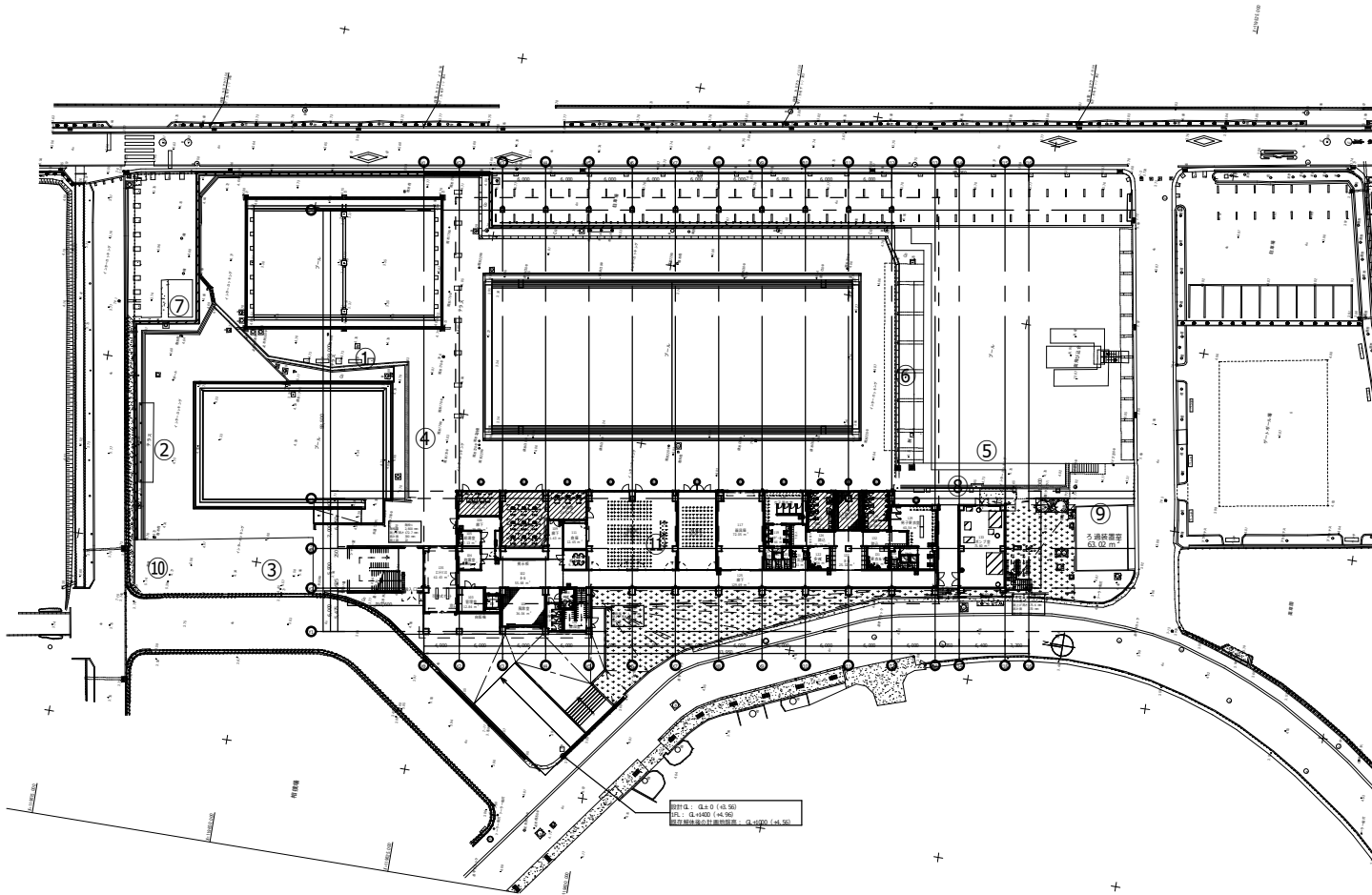
丸め

計画面積(スタンド改築・屋根工事後)					
番号	数	施設名	建築年度	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築面積(m <sup>2</sup> )
①	1	野球場 本館	昭和55年3月10日(改築)	1511.368	3485.460
2	2	野球場 スタンド	昭和55年3月10日(改築)	5600.248	3485.460
	計			7111.616	3485.460
②	3	スコアボード	昭和57年5月31日	140.030	51.630
③	4	ジュニアプールポンプ室	昭和56年度	16.160	16.160
	計			16.160	16.160
④	5	ブル管理棟・大屋根	令和5年5月(予定)	5502.68	3944.54
⑤	6	ブル濾過機械室	平成7年度	63.000	63.000
⑥	7	相撲場	平成17年度(改修)	320.490	320.490
⑦	8	相撲場更衣室	平成8年3月25日	40.000	40.000
⑧	9	テニスコート運営棟	平成14年3月15日	196.300	108.360
⑩	10	テニスコートプロバン庫	平成14年3月15日	1.450	1.450
	計			197.750	109.810
⑪	11	国道側トイレ	平成4年1月	46.120	46.120
⑫	12	消防署側トイレ	平成4年1月	46.120	46.120
⑬	13	ちびっ子広場トイレ	平成4年1月	18.800	20.350
⑭	14	ちびっ子広場多目的トイレ	平成24年2月29日	9.980	9.980
⑮	15	南広場トイレ	平成13年3月21日	34.500	58.500
⑯	16	倉庫	平成5年度	34.000	34.000
⑰	17	テニスコート休憩舎	平成9年3月(改修)	91.960	91.960
⑱	18	倉庫	平成16年度	24.800	24.800
⑲	19	ポンプ棟	令和2年度	9.980	9.980
⑳	20	薬草園管理事務所	平成4年	38.880	38.880
㉑	21	倉庫	平成8年	7.200	7.200
㉒	22	ちびっ子広場休憩舎1		19.000	19.000
23	23	ちびっ子広場休憩舎2		18.000	18.000
	計			37.000	37.000
24	24	南側休憩舎1		27.360	27.360
25	25	南側休憩舎2		95.400	95.400
26	26	南側休憩舎3		22.800	22.800
	計			145.560	145.560
27	27	テニスコート日除け1		11.200	11.200
28	28	テニスコート日除け2		11.200	11.200
	計			22.400	22.400
29	29	25mプール・ジュニアプール間日除け		36.000	36.000
30	30	ジュニアプール北側日除け		23.435	23.435
31	31	ジュニアプール・50mプール間日除け		54.416	54.416
32	32	25mプール・50mプール間日除け		126.416	126.416
	計			240.267	240.267
33	33	飛込みプール1階器具庫		88.454	88.454
34	34	飛込みプール1階テナ側		152.975	152.975
35	35	飛込みプール横通路		113.945	113.945
	計			355.374	355.374
	計			14554.667	9219.581
	スポーツ関係施設	(既存不適格)		14160.527	8799.891
	公園のトイレ、休憩所			338.080	363.630
	ポンプ棟			9.980	9.980
	その他施設	(既存不適格)		46.08	46.08
	既存不適格面積	計		14206.607	14206.607

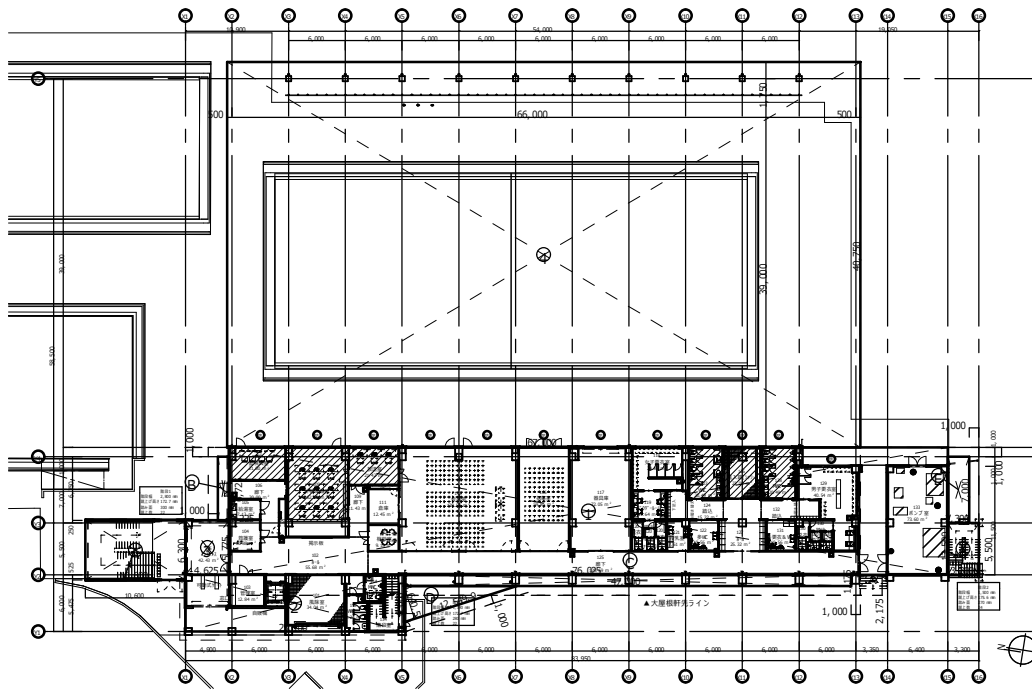
-189.67㎡

※屋根と重複する面積を除く

建坪率 10.13 %  
公園敷地面積 91,000 m<sup>2</sup>



符号	名称	位置	算式	単位	延床面積	建築面積	※大層核重複部分
①	25m <sup>2</sup> -4-21コア-4階目廊付		2*9.104	m <sup>2</sup>	18.2080	18.2080	
②	コア-4北側目廊付		4.2152*13.604	m <sup>2</sup>	57.3436	57.3436	
③	25m <sup>2</sup> -4-21コア-4階目廊付		4.2152*18.104	m <sup>2</sup>	76.3120	76.3120	
④	25m <sup>2</sup> -4-21コア-4階目廊付		4.2152*31.604	m <sup>2</sup>	133.2172	133.2172	▲ 77.6700
⑤	飛込みA-41階廊付等		4.1225*4.255	m <sup>2</sup>	17.5412	17.5412	
			4.41*16.08	m <sup>2</sup>	70.9128	70.9128	
			-4.1225*2.063	m <sup>2</sup>			▲ 8.5047
	小計				88.4540	88.4540	▲ 8.5047
⑥	飛込みA-41階分創		25.51*1.49	m <sup>2</sup>	38.0099	38.0099	
			25.255*3.8725	m <sup>2</sup>	97.8000	97.8000	
			4.27*4.02	m <sup>2</sup>	17.1654	17.1654	
			-152.97529	m <sup>2</sup>			▲ 152.9753
	小計				152.9753	152.9753	▲ 152.9753
⑦	コア-44 <sup>th</sup> コア		5.05*3.2	m <sup>2</sup>	16.1600	16.1600	
⑧	飛込みA-41階通路		4.585*4.02	m <sup>2</sup>	18.4317	18.4317	
			4.7325*4.255	m <sup>2</sup>	20.1368	20.1368	
			4.445*8.695	m <sup>2</sup>	38.6493	38.6493	
			4.98*7.375	m <sup>2</sup>	36.7275	36.7275	
			-4.585*4.02	m <sup>2</sup>			▲ 18.4317
			-4.7325*2.063	m <sup>2</sup>			▲ 9.7631
	小計				113.9453	113.9453	▲ 28.1948
⑨	ろ過装置室		63.02	m <sup>2</sup>	63.0200	63.0200	
⑩	LP室		4*2	m <sup>2</sup>	8.0000	8.0000	
	既存建物合計				727.6354	727.6354	▲ 267.3448
	重複部分補正面積				460.29	460.29	
⑪	新設A-41階廊			m <sup>2</sup>	5,716.89	4,075.33	
	合計			m <sup>2</sup>	6,177.18	4,535.62	
					6,177.49	4,619.35	48免申請
					.31	.83	差



品名	計算式	面積
①	76.025×13.500	1,026.33750
②	23.100×6.000	138.60000
③	4.625×5.775	26.70375
④	67.000×40.750	2,730.25000
⑤	10.600×6.300	66.78000
⑥	11.725×6.175	72.39375
⑦	47.300×1.175	55.57500
⑧	12.5899×3.6405×2	22.84395
⑨	2.300×2.000	4.60000
⑩	3.300×5.500	18.15000
合計		3,940.000

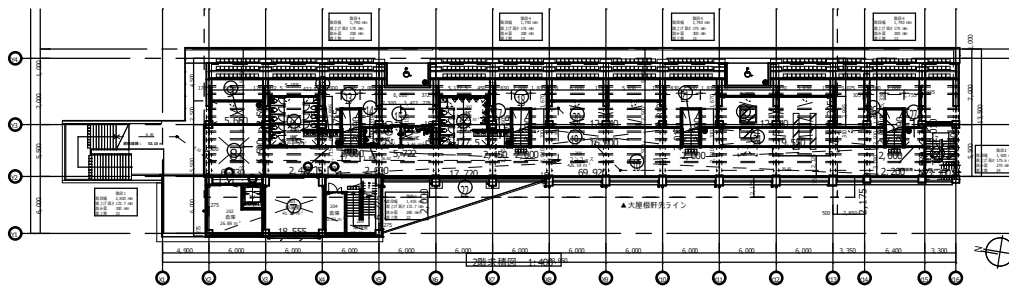
品名	計算式	面積
①		3,940.000
合計		3,940.000

品名	計算式	面積
①	76.025×13.500	1,026.33750
②	23.100×6.000	138.60000
③	4.625×5.775	26.70375
④	67.000×40.750	2,730.25000
⑤	10.600×6.300	66.78000
⑥	11.725×6.175	72.39375
⑦	47.300×1.175	55.57500
⑧	12.5899×3.6405×2	22.84395
⑨	2.300×2.000	4.60000
⑩	3.300×5.500	18.15000
合計		3,940.000

品名	計算式	面積
①	18.555×6.775	125.43063
②	4.330×5.500	23.81500
③	3.660×2.500	9.15000
④	49.900×3.180	156.68100
⑤	5.155×5.315	27.39863
⑥	2.425×1.715	4.15688
⑦	2.000×3.950	7.90000
⑧	2.000×2.000	4.00000
⑨	5.722×2.165	12.38813
⑩	5.1775×5.315	27.51841
⑪	2.400×1.715	4.11600
⑫	2.000×3.950	7.90000
⑬	16.000×2.000	32.00000
⑭	12.300×2.810	34.56300
⑮	2.000×3.950	7.90000
⑯	17.7220×4.175	73.80000
⑰	3.300×5.500	18.15000
⑱	18.5520×2.000	37.10400
⑲	12.340×3.375	41.55375
⑳	2.000×3.950	7.90000
㉑	2.200×2.000	4.40000
合計		671.92

品名	計算式	面積
①		671.92
合計		671.92

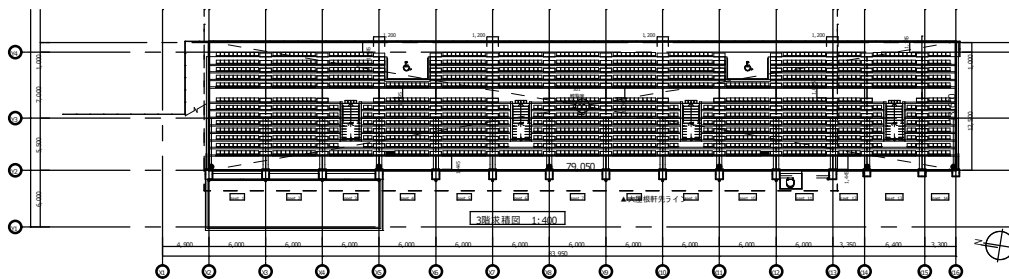
品名	計算式	面積
①	18.555×6.775	125.43063
②	4.330×5.500	23.81500
③	3.660×2.500	9.15000
④	49.900×3.180	156.68100
⑤	5.155×5.315	27.39863
⑥	2.425×1.715	4.15688
⑦	2.000×3.950	7.90000
⑧	2.000×2.000	4.00000
⑨	5.722×2.165	12.38813
⑩	5.1775×5.315	27.51841
⑪	2.400×1.715	4.11600
⑫	2.000×3.950	7.90000
⑬	16.000×2.000	32.00000
⑭	12.300×2.810	34.56300
⑮	2.000×3.950	7.90000
⑯	17.7220×4.175	73.80000
⑰	3.300×5.500	18.15000
⑱	18.5520×2.000	37.10400
⑲	12.340×3.375	41.55375
⑳	2.000×3.950	7.90000
㉑	2.200×2.000	4.40000
合計		671.92



品名	計算式	面積
①	76.025×13.500	1,026.33750
合計		1,026.33750

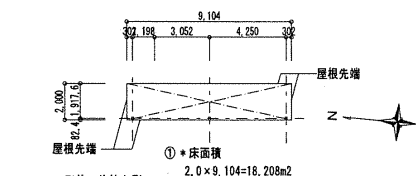
品名	計算式	面積
①		1,026.33750
合計		1,026.33750

品名	計算式	面積
①	76.025×13.500	1,026.33750
合計		1,026.33750

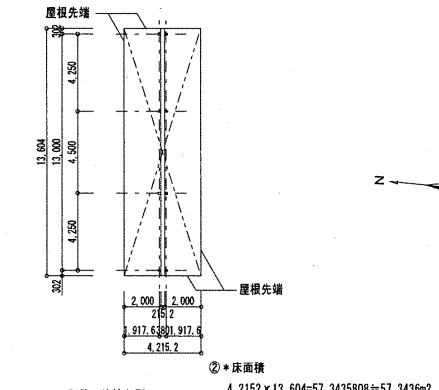


品名	計算式	面積
①		1,026.33750
合計		1,026.33750

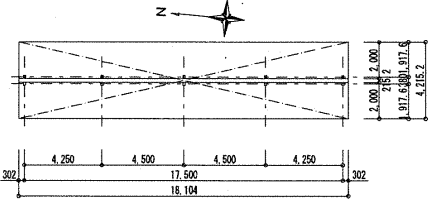
品名	計算式	面積
①	76.025×13.500	1,026.33750
②	23.100×6.000	138.60000
③	4.625×5.775	26.70375
④	67.000×40.750	2,730.25000
⑤	10.600×6.300	66.78000
⑥	11.725×6.175	72.39375
⑦	47.300×1.175	55.57500
⑧	12.5899×3.6405×2	22.84395
⑨	2.300×2.000	4.60000
⑩	3.300×5.500	18.15000
合計		4,109.56644



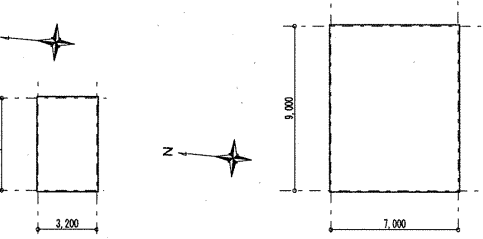
2.5mワ-ル〜ジュニアポンプ室間新設日除けテラス (1) 平面図 1/200



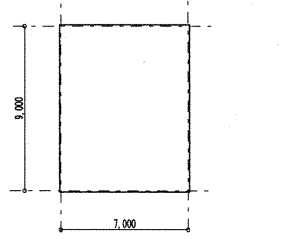
ジュニアポンプ室北移設日除けテラス (2) 平面図 1/200



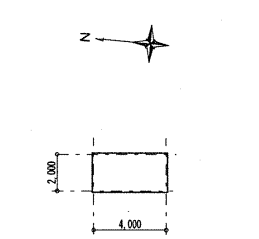
ジュニアポンプ室西新設日除けテラス (3) 平面図 1/200



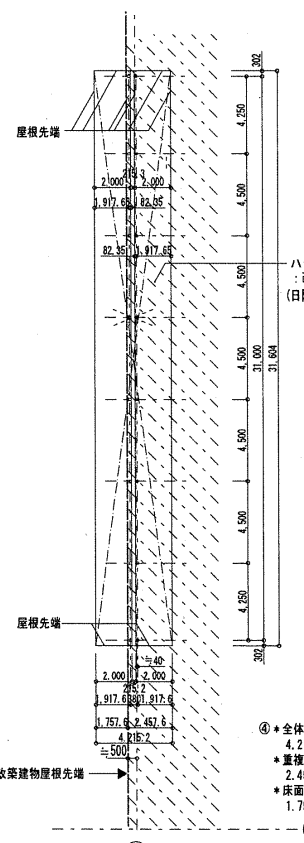
ジュニアポンプ室平面図 1/200



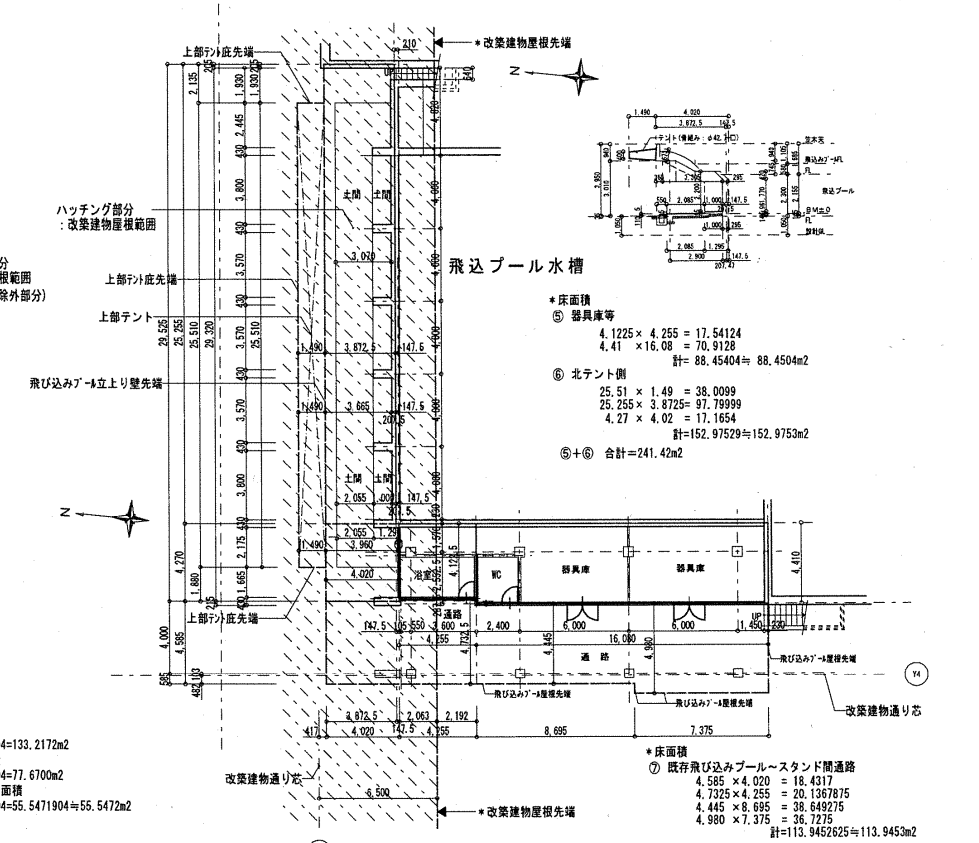
ろ過装置室平面図 1/200



L.P.庫平面図 1/200



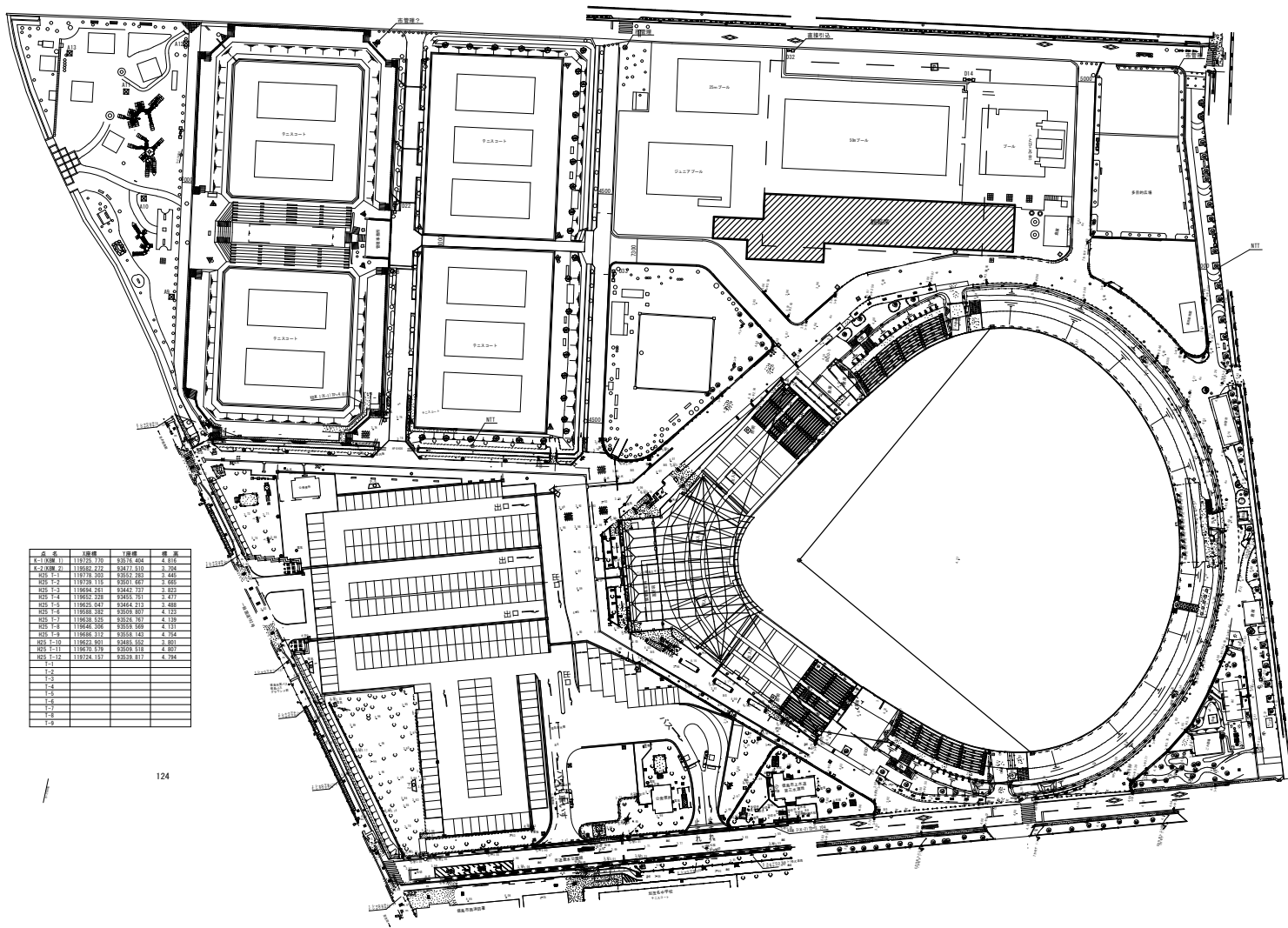
2.5mワ-ル〜5.0mワ-ル間既存日除け (4) 平面図 1/200



飛び込みプール1階 西器具庫及び北テント側及び飛び込みプールスタンド間通路 平面図 1/200

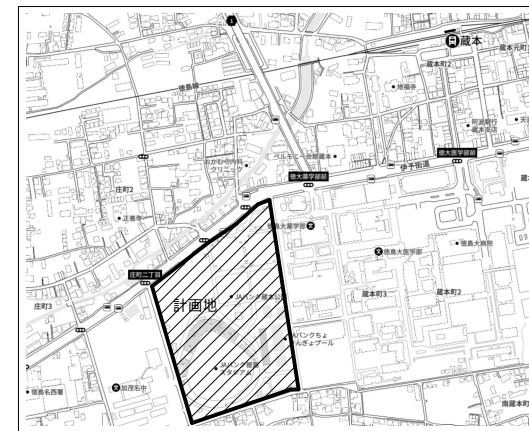
建物名称等	① 全体面積		② 改築建物と重複する部分の面積		①-②差し引き計 (床面積に算定される部分の面積)
	計算式	小計 (㎡)	計算式	小計 (㎡)	
① 2.5mワ-ル〜ジュニアポンプ室間新設日除けテラス	2.0 × 9.104	18.2080	—	0.0000	18.2080
② ジュニアポンプ室北移設日除けテラス	4.2152 × 13.604	57.3436	—	0.0000	57.3436
③ 2.5mワ-ル〜ジュニアポンプ室間新設日除けテラス	4.2152 × 18.104	76.3120	—	0.0000	76.3120
④ 2.5mワ-ル〜5.0mワ-ル間既存日除けテラス	4.2152 × 31.604	133.2172	▲ 2.4576 × 31.604	▲ 77.6700	55.5472
⑤ 飛び込みプール1階 器具庫等	4.1225 × 4.255	17.5412	▲ 4.1225 × 2.063	▲ 8.5047	79.9493
	4.41 × 16.08	70.9128	—	—	—
⑥ 飛び込みプール1階北テント側	25.51 × 1.49	38.0099	25.51 × 1.49	38.0099	▲ 162.9753
	25.255 × 3.8725	97.8000	25.255 × 3.8725	97.8000	—
	4.27 × 4.02	17.1654	4.27 × 4.02	17.1654	—
⑦ 飛び込みプール〜既存スタンド間通路	4.585 × 4.020	18.4317	▲ 4.585 × 4.020	▲ 18.4317	▲ 28.1948
	4.7325 × 4.255	20.1368	▲ 4.7325 × 2.063	▲ 9.7631	—
	4.445 × 8.695	38.6493	—	—	—
	4.980 × 7.375	36.7275	—	—	—
⑧ ジュニアポンプ室	5.05 × 3.20	16.1600	—	0.0000	16.1600
⑨ ろ過装置室	7.00 × 9.00	63.0000	—	0.0000	63.0000
⑩ L.P.庫	4.00 × 2.00	8.0000	—	0.0000	8.0000
合計	—	727.6154	—	▲ 267.3448	460.2706





蔵本全体配置 1:1000

区分	面積	延床面積	容積率
敷地	119,275.730	930,792.404	7.81%
1-1	119,275.730	930,792.404	7.81%
1-2	119,275.730	930,792.404	7.81%
1-3	119,275.730	930,792.404	7.81%
1-4	119,275.730	930,792.404	7.81%
1-5	119,275.730	930,792.404	7.81%
1-6	119,275.730	930,792.404	7.81%
1-7	119,275.730	930,792.404	7.81%
1-8	119,275.730	930,792.404	7.81%
1-9	119,275.730	930,792.404	7.81%
1-10	119,275.730	930,792.404	7.81%
1-11	119,275.730	930,792.404	7.81%
1-12	119,275.730	930,792.404	7.81%



附近見取図